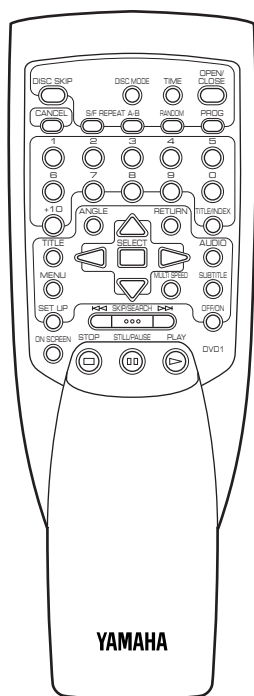
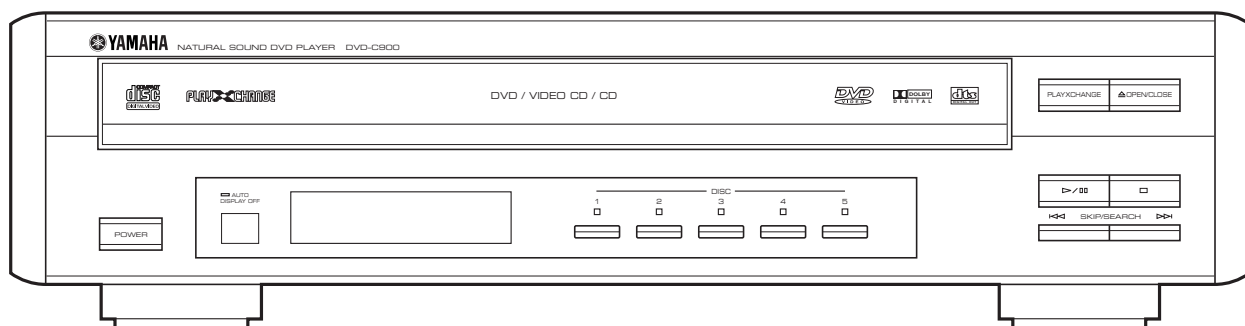




DVD-C900

NATURAL SOUND DVD PLAYER

取扱説明書



このたびはヤマハDVDプレーヤーDVD-C900をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。DVD-C900の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくため、ご使用前にはこの取扱説明書を必ずお読みください。

また、お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

保証書

保証書は、必ず[†]販売店名・購入日などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書に販売店・購入日などの記入漏れがありますと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、実費をいただくことがあります。充分ご注意ください。



ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



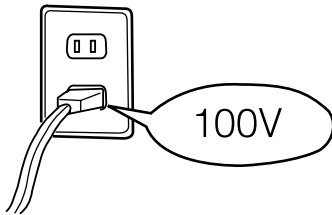
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

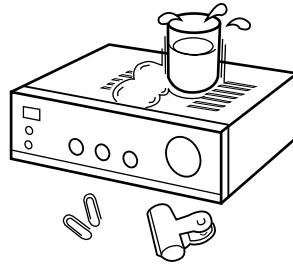
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⊘ 電源電圧交流100V以外の電圧で使用しない



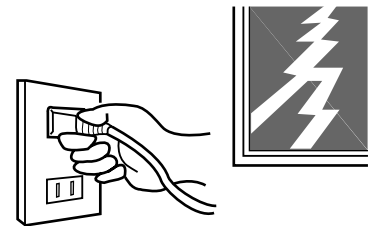
火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。

- ⊘ 水を入れたり、ぬらさない



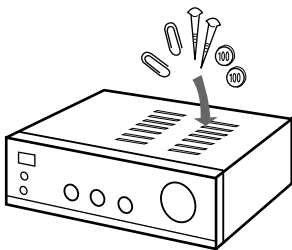
火災・感電の原因となります。
本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。

- ⊘ 雷が鳴っているときは、アンテナ線や電源プラグに触れない



感電の原因となります。

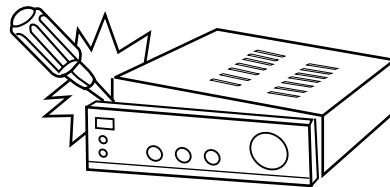
- ⊘ 通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない



火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

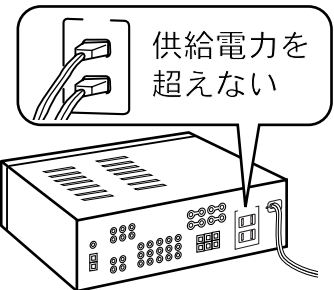
- ⊘ 分解・改造を絶対しない(キャビネットをはずすことも含む)

分解禁止



火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- ⊘ 供給電力を超える消費電力の機器を、電源供給コンセントに接続しない



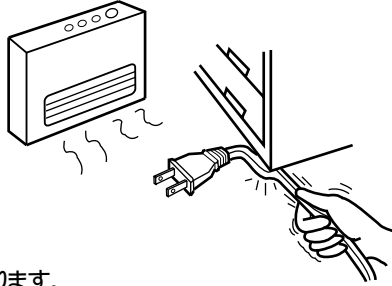
火災の原因となります。
接続機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を超えないようにしてください。また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器(電熱機具、ヘアドライヤー、電磁調理機器など)は接続しないでください。



警告

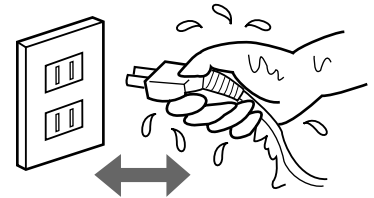
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⊘ 電源コード・プラグを破損するようなことをしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる・ねじる、引っばる、束ねる、重いものをのせるなどしない)



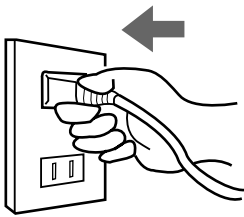
火災・感電の原因となります。
コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

- ⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



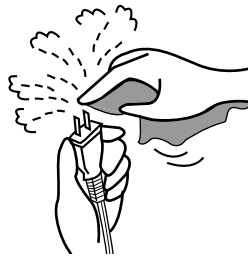
感電の原因となります。

- ❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



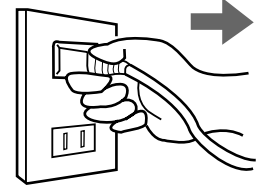
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
抜くときは必ずプラグを持ち、コードを引っばらないでください。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

- ❗ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



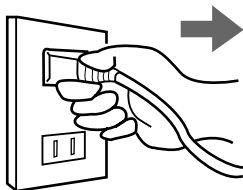
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ❗ 機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



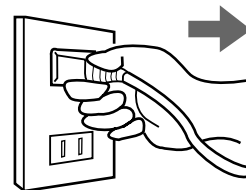
販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- ❗ 煙が出たり変なおいや音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
また、電源プラグの抜き差しがしやすいコンセントに接続する



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- ❗ 落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



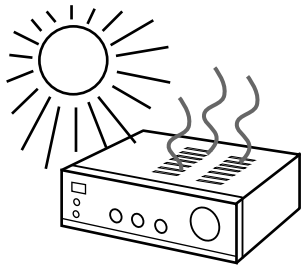
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



注意

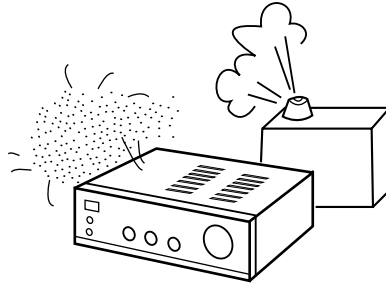
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⊘ 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない



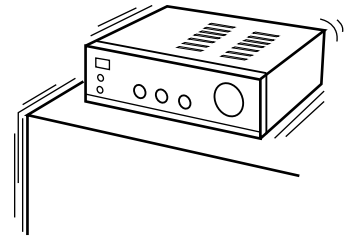
キャビネットや部品に悪い影響を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない



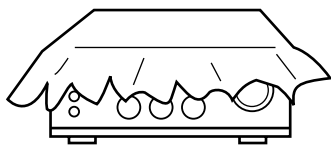
火災・感電の原因となります。

- ⊘ 振動のある場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

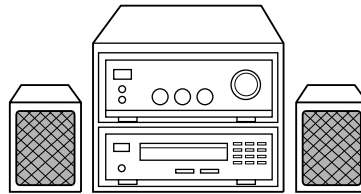
- ⊘ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、次の点に注意してください。

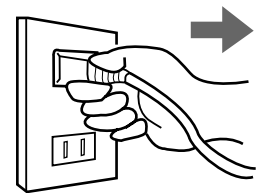
テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

- ⚠ 放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く



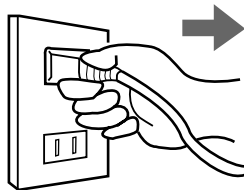
火災・故障の原因となります。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。

- 🔌 各機器を接続する場合は電源プラグを抜き、説明に従って接続する



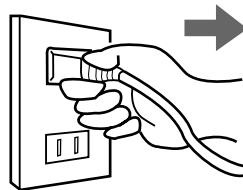
各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。

- 🔌 移動するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す



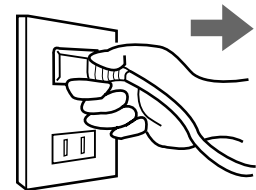
コードが傷つくと火災・感電の原因となります。

- 🔌 お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



感電の原因となります。

- 🔌 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く



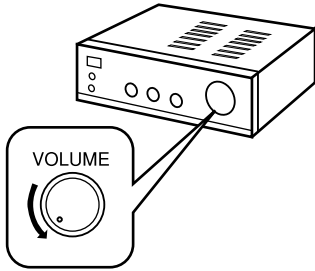
火災の原因となります。



注意

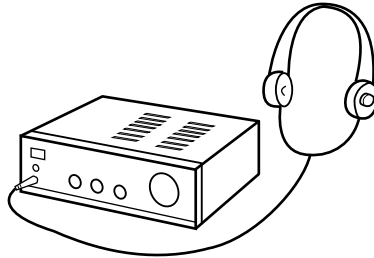
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⚠ 電源を入れる前には音量を最小にする



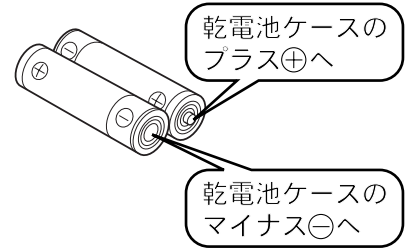
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となります。

- ⊘ ヘッドホンを使うときは、音量を上げすぎない



大きな音で聞くと、聴力障害などの原因となります。

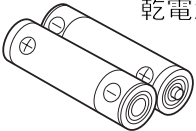
- ⚠ 付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示（プラス \oplus とマイナス \ominus ）通りに入れる



間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

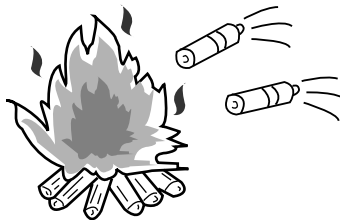
- ⊘ 指定以外の乾電池は使用しない

取扱説明書に記載されている乾電池を使用する



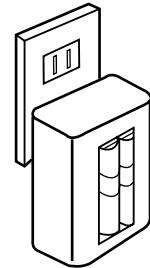
また、種類の違う乾電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。

- ⊘ 乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因になります。

- ⊘ 乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因になります。

- ⚠ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

- ⚠ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

本機は音楽や映画などを再生する目的で設計されています。従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生すると、本機の故障の原因となるばかりではなく、スピーカーをいためる原因となることがあります。

デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

DVD-C900の特長

DVDディスクを高音質・高画質・多彩な機能で再生し、ビデオCDや音楽CDも再生できます。

高

画質を追求した基本設計

10bitビデオDAコンバータの搭載、高画質パーツの採用、映像回路の電源アースを独立させるなど、高画質を追求したDVDプレーヤーです。また、コンポーネント映像出力(色差信号)端子も装備しています。

4

種類のサウンドフォーマットに対応。高音質再生。

4種類のサウンドフォーマット(PCM/ドルビーデジタル*/MPEG/DTS*)に対応し、高音質なデジタル出力が可能です。また、ドルビーデジタル5.1チャンネルデコーダーを内蔵し、96kHz/24bitオーディオDAコンバータを搭載。ドルビーデジタルサラウンドの臨場感あふれる再生が楽しめます。さらに、高音質パーツの採用、音声回路の電源アースを独立させるなど、高音質を追求し、S/N115dB以上、ダイナミックレンジ104dB以上、低歪率0.002%以下を実現しています。

5

連奏チェンジャー機能

最大5枚のディスクをトレイにセット可能。連続再生はもちろん、再生中に他のディスクを交換することもできます。また、DSPインテリジェントデジタルサーボを採用し、ディスクのビット情報の読み出し、デジタル化処理を高性能化。画像/音声のクオリティを向上しています。

画

面焼付き防止用のスクリーンセーバー機能

本機は、電源を切り忘れてもモニター画面の焼付きを防止できるスクリーンセーバー機能を搭載しています。

シ

ンプル&イージーを追求した操作性

オンスクリーン表示は、接続したテレビなどの画面に操作を表示してやさしくガイド。シンプルで分かりやすい操作性を追求しています。また、付属の41ボタンリモコンが利便性を高めています。

多

彩なDVD機能

マルチ音声

お好みの音声言語を最大8カ国語から選んで楽しむことができます。(音声言語数は、DVDソフトにより異なります。)

マルチ字幕

お好みの字幕言語を最大32カ国語から選んで楽しむことができます。(字幕言語数は、DVDソフトにより異なります。)

マルチアングル

見たいアングル(角度)に変えて楽しむことができます。(複数のアングルが記録されているDVDソフトに限ります。)


視聴制限

お子様などに見せたくないDVDソフトを再生できなくすることができます。(視聴制限レベルが記録されているDVDソフトに限ります。)



ドルビーデジタル*

本機は、先進のシアターサウンド[®]ドルビーデジタル[®]を家庭で楽しめるドルビーデジタルデコーダーを搭載。ハイクオリティなデジタルサウンドが楽しめます。

* ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、PRO LOGIC、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。



DTS[®](デジタルシアターシステム)

DTSはドルビーデジタルサウンドとともに優れたデジタルサウンドを提供しているサウンドフォーマットです。本機でDTSフォーマットのDVDを再生すれば、サウンドデータをデジタル出力できます。本機から出力されたデジタル信号をDTSデコーダー内蔵のアンプなどで再生することにより、ハイクオリティなデジタルサウンドが楽しめます。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために).....	2
DVD-C900の特長.....	6
ご使用になる前に.....	8
リモコンについて	9
ディスクについて	10
各部の名称と機能	12
本体前面.....	12
ディスプレイ部.....	13
リモコン.....	14
本体後面.....	16
接続のしかた	17
【1】デジタル音声の接続.....	18
デジタル音声について.....	19
デジタル音声を聴くには.....	19
【2】アナログ音声の接続.....	20
アナログ音声について.....	21
アナログ音声を聴くには.....	21
【3】映像の接続.....	22
コンポーネント(色差映像)について.....	23
VIDEO OUT SELECTスイッチ(ビデオアウトセレクト).....	23
接続するアンプにモニター映像出力端子がある場合.....	23
使う前に必要な設定	24
ディスクを再生する(基本的な操作)	25
DVD固有の操作.....	28
タイトルメニューの表示.....	28
DVDメニューの表示.....	28
字幕(サブタイトル)言語の設定.....	28
音声言語の設定.....	29
アングルの設定.....	29
再生のコントロール.....	30
位置を指定して再生開始する(サーチ操作).....	32
繰り返し再生する(リピート再生).....	34
順不同に再生する(ランダム再生).....	37
好きな順に再生する(プログラム再生).....	38
オーディオモードの設定(ビデオCD、音楽CDのみ有効).....	39
ディスプレイ表示の設定.....	40
オンスクリーン表示の設定.....	41
初期設定(セットアップ)の変更	43
DVD言語コード一覧表.....	52
参考仕様.....	53
故障かな?と思ったら.....	54
ヤマハホットラインサービスネットワーク.....	56

ご使用になる前に

取扱いについて

設置するときは

- ・ 平らな場所に置く
- ・ 棚の上など、高いところには置かない。
- ・ 本機の脚で、コードなどを踏まない。

使用するときは

- ・ 揮発性の殺虫剤などがかからないようにする。(キャビネットの変形や塗装がはげるとおそれがあります。)

移動や輸送するときは

- ・ 移動するときはディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す。
- ・ 引っ越しなどで輸送するときは、購入時のパッキングケースに入れる。
- ・ 移動や輸送するときは、落としたり、ぶついたりしない。

長期間使用しないときは

- ・ 旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。(不慮の事故で火災の原因になります。)

お手入れについて

- ・ 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ 汚れはやわらかい布で軽く拭き取る。(汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤を布に浸し、よくしぼってから拭く。)
- ・ ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。



結露について

冬季などに、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置している部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やピックアップレンズに露がつくことがあります。

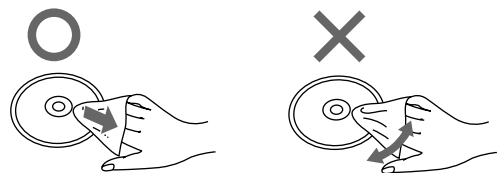
露がついたままでは、ディスクの読み取りや正常な再生ができないため、電源を入れたまま1~2時間放置し、露が消えてからご使用ください。

結露と同じ現象は、夏季のクーラーやエアコンの風が本機に直接当たるときにも起こることがあります。この場合は、本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてください。

- ・ ディスクをケースから取り出したときに、ディスクに露がつくことがあります。そのようなときは、露を十分に拭き取ってからトレイにセットしてください。

ディスクの取扱い

- ・ ディスクの表面に触れたり、文字を書いたりしない。
- ・ ディスクに付いたほこりやごみ、指紋は柔らかい布で拭く。このとき、必ず内側から外側へ拭く。



- ・ 汚したり、傷つけたりしない。
- ・ 直射日光の当たるところや、温度・湿度の高いところに置かない。
- ・ 落としたり、曲げたりしない。
- ・ CD用スタビライザーを使用しない。
- ・ 保管するときは、専用のケースに入れる。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

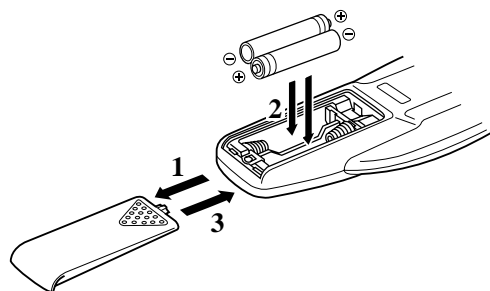
規格外のディスクはご使用にならないでください。

ハート型や花の形などの変形CD(シェイプCD)などは、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないでください。規格外のディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

リモコンについて

リモコンの準備

乾電池(付属)を入れる。



リモコン用乾電池の交換時期

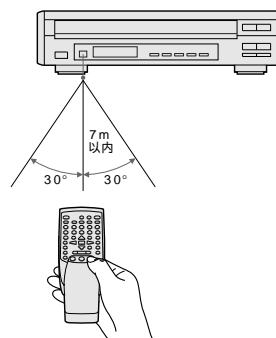
リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい乾電池に交換してください。

乾電池のご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれが起きたり破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

- ・ 乾電池のプラスとマイナスの向きを表示どおりに正しく入れてください。
- ・ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。
- ・ 乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。
- ・ 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- ・ 液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

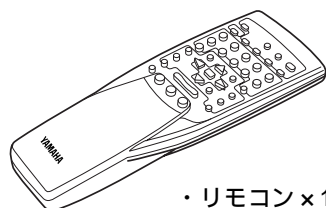
リモコンの使用範囲



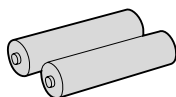
リモコン取扱い上のご注意

- ・ 受光窓とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- ・ リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、温度の高い所には置かないでください。
- ・ 受光窓に直射日光や強い照明(インバーター蛍光灯など)が当たっているとリモコンが働きにくくなります。照明または製品本体の向きを変えてください。
- ・ 他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作をしないことがあります。

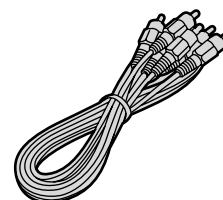
付属品をお確かめください。



・ リモコン × 1



・ 単3乾電池 × 2本



・ 映像/音声コード × 1

ディスクについて

本機で再生できるディスク(DVD/ビデオCD/CD)

本機では、次のディスクが再生できます。

ディスクの種類	DVDビデオ				ビデオCD(VCD)		音楽CD	
ディスクのマーク(ロゴ)								
記録されているデータ	映像/音声				映像/音声		音声	
サイズ	12cm		8cm		12cm	8cm	12cm	8cm
記録面	片面	両面	片面	両面	片面	片面	片面	片面
最長再生時間	約4時間	約8時間	約80分	約160分	74分	20分	74分	20分
サーチの種類	タイトルサーチ チャプターサーチ タイムサーチ				トラックサーチ インデックスサーチ タイムサーチ		トラックサーチ インデックスサーチ タイムサーチ	
その他	リージョン番号 コピーガードシステム				プレイバックコントロール (*バージョン2.0)			

再生できないディスク

- ・ CD-ROM、VSD、CDV、CD-G
- ・ CD-R、CD-RW、フォトCD、CD-EXTRA
- ・ DVD-R、DVD-ROM、DVD-RAM
- ・ リージョン番号「2」が含まれていない、または「ALL」表示がないDVD

リージョン番号について

DVDディスクには、リージョン番号(再生可能地域番号)が全世界の地域別に割り当てられています。このリージョン番号が本機と一致しない場合は再生できません。本機は「2」または「ALL」が表記されているDVDディスクを再生することができます。

本機で再生可能なディスクの表記例



また、本機は日本やアメリカで採用されているNTSCカラーテレビ方式に対応しています。ヨーロッパなどで採用されているNTSC以外のカラーテレビ方式(PAL)対応のディスクでは正常に再生できません。

コピーガードシステムについて

本機はアナログコピーガードシステムに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRに録画しても、コピーガードシステムにより、正常に再生できません。

PBC(プレイバックコントロール)について

本機は、PBC対応ビデオCDに対応しています。ディスクのタイプ(バージョン)によって、以下の2種類の再生が楽しめます。

PBC非対応ビデオCD(バージョン1.1)
音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。

PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)
上記に加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面(選択画面)を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(27ページ参照)。また高精細の静止画も再生できます。

DVD、ビデオCD再生時の操作上の注意

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに本機が働かない場合があります(「禁止マーク」が表示されます)。必ず、再生するディスクに付属の説明書も併せてご覧ください。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに各種機能表示用マークが記載されています。このマークは、ディスクに記録されている内容や、使える機能を表します。

* ディスクによっては、機能が使えても、マークが記載されていないDVDもあります。



音声(音声記録方式及び音声内容)

マークの中に、収録されている音声トラックの数を表示しています(この例の場合、3音声)。また、マークの横に音声の内容と記録方式が記載されている場合もあります。最大8種類収録可能です。



字幕(サブタイトル)

マークの中に、収録されている字幕の数を表示します(この例の場合、3字幕)。また、マークの横に字幕の内容が記載されている場合もあります。最大32種類収録可能です。

*「日本語吹替え用字幕」: 日本語音声を選択した際に、音声以外に翻訳を必要とする情報を表示するために収録されている字幕。たとえば、通常の字幕に加え、シーンの年代や場所(例: 1950ニューヨーク)などを表す場合に使用されます。



マルチアングル

1作品の中で、1つの場面が複数の視点で収録されていたり、同一時間に進行する複数の場面が同時に収録されていることを表しています。マークの中に、再生可能なアングルの数が表示されています(この例の場合、3アングル)。最大9アングル収録可能。



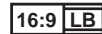
ドルビーデジタル

DVDの標準音声システムとして採用された音声圧縮記録方式です。ステレオ、モノラル、サラウンドなど、7種類のモードがあり、最大5.1チャンネルの独立した音声を再生することができます。



画面アスペクト

収録されている画面サイズの種類を表示しています。



16:9サイズ(ワイドTV対応)で収録。プレーヤーの切り替え操作により、通常のテレビでは4:3画面サイズ(レターボックス*)での再生が可能です。



4:3画面サイズ(通常のテレビサイズ)にレターボックスで収録。再生すると、画面の上下に黒いオビが出ます。LDのワイドスクリーン版と同様の収録方法です。



従来のテレビサイズで収録されています。

*「レターボックス」: 4:3テレビ(通常のテレビ)にワイドスクリーン映画などの横長の画面情報をフルに映し出すために、画面の上下に黒などの帯を付けて画面中央部にこの横長画像を映し出す手法。画面が文字通り郵便受けに似ていることから名付けられました。



リージョン番号

著作権保護のために設けられたシステムのひとつで、地域限定番号のことで、世界を6つの地域に分け、各地域ごとにプレーヤー及びソフトの再生を管理しています。日本(とヨーロッパ)の地域番号は「2」です。プレーヤーとソフトに付与された地域番号が「2」の場合に再生可能となります。なお、ソフトのリージョン番号欄に「ALL」と記載されている場合は、「全世界で再生可能」を意味します。また、ヨーロッパで入手したリージョン番号「2」のディスクは、ヨーロッパのテレビ方式がPALであるため、日本の一般的なプレーヤー(NTSC方式)では正常に再生できません。

ディスクに関する用語(単位)の説明

タイトル(DVD)

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(あるいは1曲)にあたります。

チャプター(DVD)

DVDに記録されている映像や曲の区切りです。タイトルより小さい単位をチャプターといいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

トラック(ビデオCD/音楽CD)

ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り(1曲分)をトラックといいます。

インデックス(ビデオCD/音楽CD)

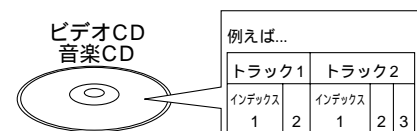
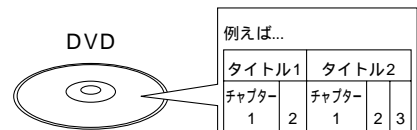
ビデオCD及びCDに、再生したい部分を見つけやすいように1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

タイム(全ディスク)

ディスクの再生経過時間です。ディスク(DVD)によってはタイムが表示されないものがあります。

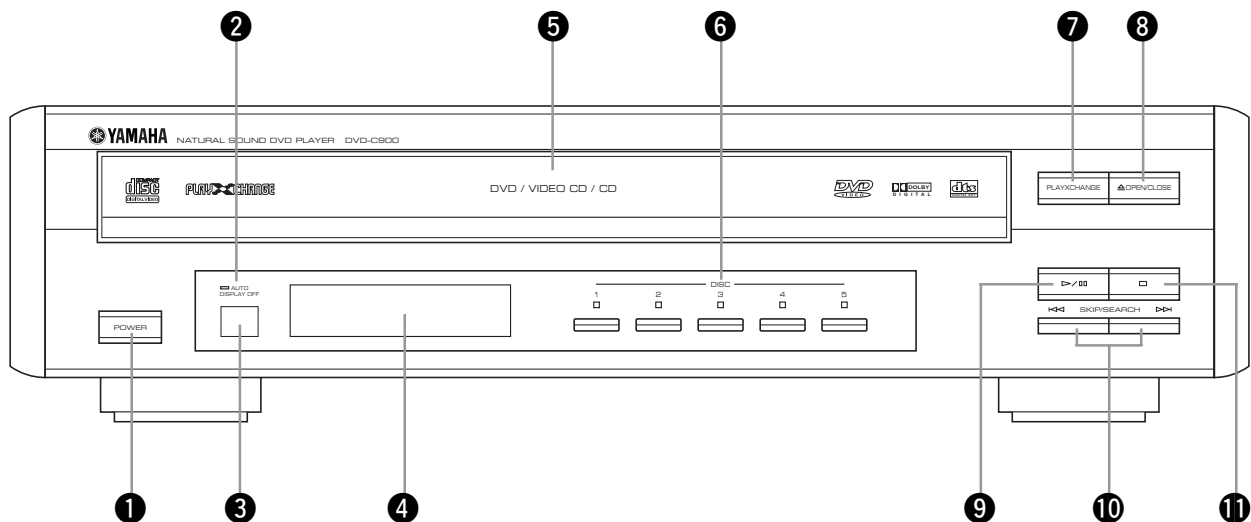
メニュー(DVD、ビデオCD)

選択するための画面(目次など)のことをメニューといいます。



各部の名称と機能

本体前面



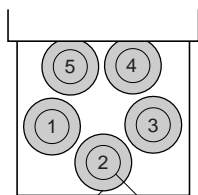
① ^{パワー} POWERボタン
電源をオン/オフします。

② ^{オート ディスプレイ オフ} AUTO DISPLAY OFFインジケータ
初期設定の表示設定で、フロントパネル表示器を「切」に設定すると点灯します(43ページ参照)。

③ リモコン受光窓
リモコンからの信号を受け取る窓です。

④ ディスプレイ
本機の動作状況や各種設定状態を表示します。
次ページをご参照ください。

⑤ ディスクトレイ
再生するディスクを入れます。最大5枚まで入れることができ、それぞれのトレイには番号(ディスク番号)がついています。



ガイド(12cm盤用) ガイド(8cm盤用)

ディスクはガイドに合わせて置いてください。

⑥ ^{ディスク} DISC 1 ~ 5ボタン/インジケータ
再生するディスクを選びます。選択可能なディスクに対応するインジケータが点灯します。(ディスクが無いことが検出されると、そのディスク番号のインジケータは消えます。)

⑦ ^{プレイエクスチェンジ} PLAY/CHANGEボタン
映像や音楽の再生を中断することなく、ディスクトレイを開閉できます。再生ディスク以外のディスクを交換することができます。

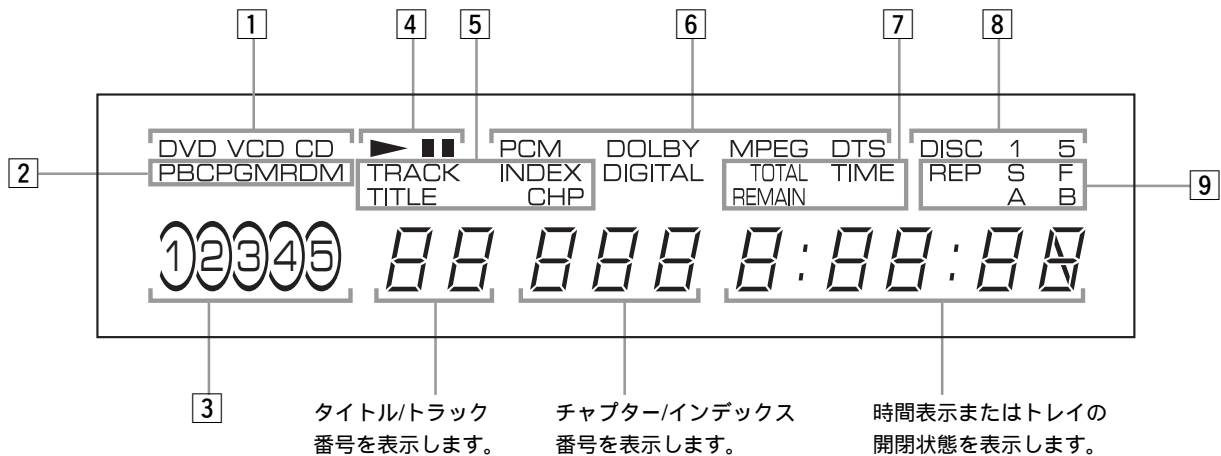
⑧ ^{オープン クローズ} OPEN/CLOSEボタン
ディスクトレイを開閉します。

⑨ ▷/◻▶ボタン(プレイ/ポーズ)
映像や音楽の再生を開始、または一時停止します。

⑩ ^{スキップ サーチ} SKIP/SEARCHボタン
映像や音楽を「頭出し」したり、「早送り」「早戻し」します。

⑪ ◻ボタン(ストップ)
映像や音楽の再生を停止します。

ディスプレイ部



①の表示部

- DVD
DVDビデオディスクが再生されているときに点灯します。
- VCD
ビデオCDディスクが再生されているときに点灯します。
- CD
音楽CDディスクが再生されているときに点灯します。

②の表示部

- PBC(プレイバックコントロール)
ビデオCDのプレイバック機能が働いているときに点灯します(10, 27ページ参照)。
- PGM(プログラム)
プログラム再生モードのときに点灯します(38ページ参照)。
- RDM(ランダム)
ランダム再生モードのときに点灯します(37ページ参照)。

③ディスク番号(1~5)および外枠

ディスク番号(1~5)は、本機のディスク有無検出動作により、点灯(あり)/消灯(なし)します。(ディスク有無検出未実行のディスク番号も点灯します。故障ではありません。)ディスク番号の外枠は、再生中あるいは再生対象のディスクを点灯します。

④の表示部

- ▶(プレイ)
再生中に点灯します。
- (ポーズ)
一時停止中に点灯します。

⑤の表示部

- TRACK(トラック)
トラック番号を表示するときに点灯します。
- TITLE(タイトル)
タイトル番号を表示するときに点灯します。
- INDEX(インデックス)
インデックス番号を表示するときに点灯します。
- CHP(チャプター)
チャプター番号を表示するときに点灯します。

⑥の表示部

- PCM(ピーシーエム)
PCM音声を再生しているときに点灯します。
- DOLBY DIGITAL(ドルビーデジタル)
ドルビーデジタル音声を再生しているときに点灯します。
- MPEG(エムペグ)
MPEG音声を再生しているときに点灯します。
- DTS(ディーティーエス)
DTS音声を再生しているときに点灯します。

⑦TOTAL/REMAIN/TIME

時間表示内容に応じて点灯します(40ページ参照)。

⑧DISC 1/5

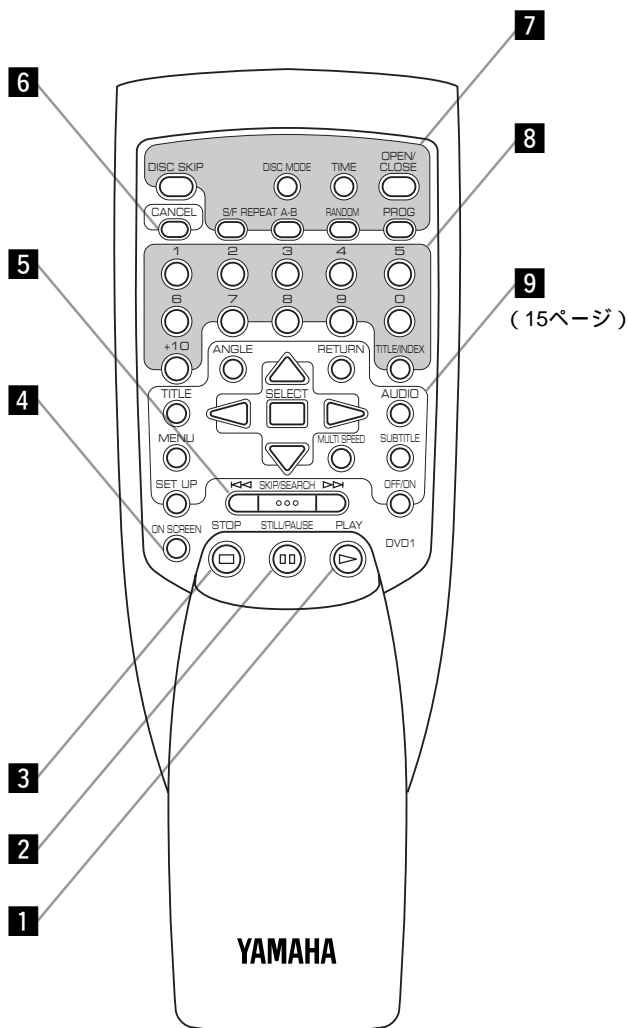
ディスクの再生モード(1ディスク/5ディスク)を点灯表示します。

⑨REP S/F/A B

リピートモードの設定状態を点灯表示します。

- REP S : シングルリピート
- REP F : フルリピート
- REP A B : A-Bリピート

リモコン



7の操作部

OPEN/CLOSEボタン(オープン/クローズ)
ディスクトレイを開閉します。

TIMEボタン(タイム)
時間表示モードを選びます(40ページ参照)。

DISC MODEボタン(ディスクモード)
ディスクの再生モード(1ディスク/5ディスク)を切り替えます(26ページ参照)。

DISC SKIPボタン(ディスクスキップ)
5枚のディスクから再生するディスクを選びます。
(26ページ参照)

PROGボタン(プログラム)
プログラム再生モードに入ります。TVにプログラム画面が表示されます(38ページ参照)。

RANDOMボタン(ランダム)
ランダム再生モードに入ります。映像または音楽が順不同に選択されて再生されます。
(37ページ参照)

REPEAT A-Bボタン(A-B リピート)
リピートする区間を指定して、その区間を繰り返し再生します(36ページ参照)。

REPEAT S/Fボタン(シングル/フル リピート)
リピートモード(シングル/フル/オフ)を選びます。
(34ページ参照)

8の操作部

数字ボタン
タイトル番号、トラック番号、タイムといった数値を入力(指定)します。+10ボタンは10以上の数値を入力するために使用します。

TITLE/INDEXボタン(タイトル/インデックス)
サーチモード(タイトル・インデックスサーチ/タイムサーチ/サーチオフ)を選びます。

プレイ
1 PLAYボタン
映像や音楽を再生します。

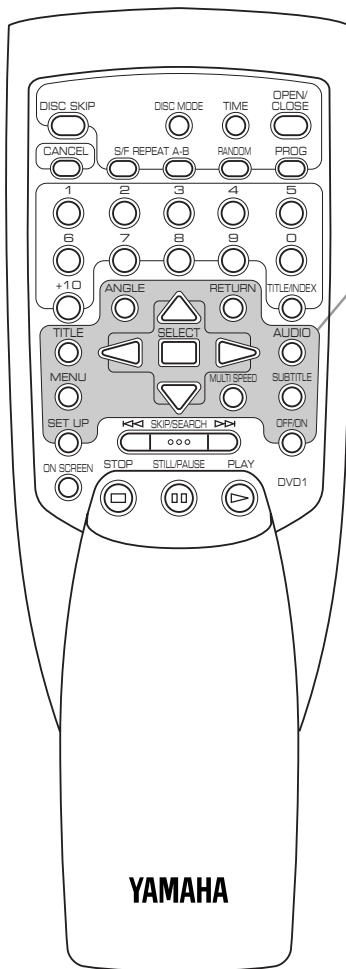
スティル ポーズ
2 STILL/PAUSEボタン
映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送り(31ページ参照)します。

ストップ
3 STOPボタン
映像や音楽を止めます。

オン スクリーン
4 ON SCREENボタン
プレーヤーや再生に関する情報を、TV画面に表示します。

スキップ サーチ
5 SKIP/SEARCHボタン
映像や音楽を「頭出し」したり、「早送り」「早戻し」します。

キャンセル
6 CANCELボタン
プログラム内容を取り消したり(39ページ参照) 初期設定をデフォルト値に戻します(44ページ参照)。



9の操作部

MULTI SPEEDボタン(マルチスピード)

映像再生中に押すと、マルチスピード(可変速度)モードに入ります。停止状態で押された場合は、操作無効となります(31ページ参照)。

カーソル(▲▼◀▶)ボタン

メニュー項目を選んだり、再生速度/方向(マルチスピード)を指定します。

SELECTボタン(セレクト)

選んだ項目や入力した数値を決定します。

RETURNボタン(リターン)

ひとつ前のメニュー画面へ戻ります。

AUDIOボタン(オーディオ)

DVDのときは、音声言語を切り替えます(29ページ参照)。

ビデオCD、音楽CDのときは、「ステレオ」「L」「R」に切り替えます(39ページ参照)。

SET UPボタン(セットアップ)

初期設定画面を表示させます(44ページ参照)。

下記のボタンは、DVDディスク再生時だけ働きます。また、DVDディスクに該当する機能(データ)を収録されていることが条件となります。

ANGLEボタン(アングル)

映像のアングルを切り替えます(29ページ参照)。

SUBTITLEボタン(サブタイトル)

字幕の言語を切り替えます(28ページ参照)。

OFF/ONボタン(オフ/オン)

字幕表示をオン/オフします(28ページ参照)。

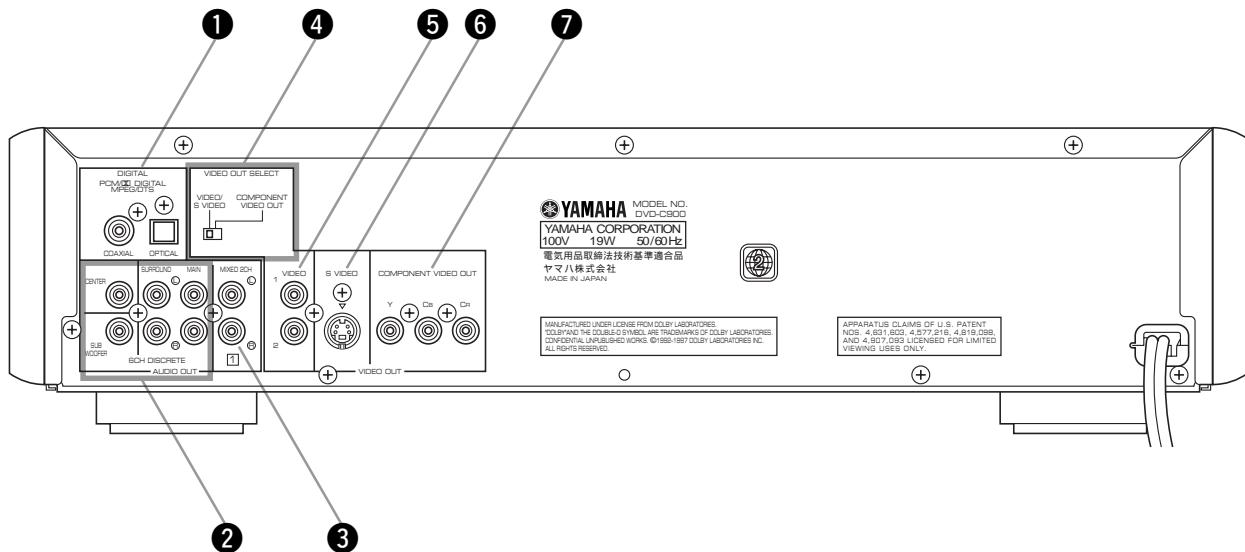
TITLEボタン(タイトル)

タイトルメニューを表示させます(28ページ参照)。

MENUボタン(メニュー)

DVDメニューを表示させます(28ページ参照)。

本体後面



① デジタル音声出力端子(光/同軸)

デジタル音声 PCM/DIGITAL/MPEG/DTS を出力します。出力される音声フォーマットは、本機の初期設定に含まれる[音声設定：デジタル出力]によって設定されます。

② 6CH DISCRETE音声出力端子

それぞれのチャンネルのアナログ音声を出力します。6チャンネルディスクリート入力端子を持つアンプと接続します。

CENTER(センター)

センターチャンネルを出力。

SUB WOOFER(サブウーファー)

サブウーファーチャンネルを出力。

SURROUND L/R(サラウンドL/R)

サラウンドL/Rチャンネルを出力。

MAIN L/R(メインL/R)

メインL/Rチャンネルを出力。

③ MIXED 2CH L/R音声出力端子

ミックスダウンしたL/Rチャンネルのアナログ音声を出力します。付属の映像/音声コード(赤・白)を接続します。

④ VIDEO OUT SELECTスイッチ

映像を出力する映像端子を選ぶスイッチです。使用する映像出力端子(COMPONENT VIDEO OUTまたはVIDEO/S VIDEO)に合わせて切り替えてください。3つ同時に出力できません。

⑤ VIDEO 1/2出力端子

VIDEO 1/2から映像(コンポジット)を出力します。VIDEO 1/2のいずれかに付属の映像/音声コード(黄)を接続します。

⑥ S VIDEO出力端子

S映像を出力します。

⑦ COMPONENT VIDEO OUT出力端子

色差映像(コンポーネント)を出力します。色差映像入力端子を持つテレビやプロジェクターと接続します(22ページ参照)。

接続のしかた

接続の前に

本機および接続する機器の電源を切ってください。

本機が外部機器(テレビ、チューナーなど)に悪影響を与える場合は、本機と外部機器の設置場所を離してください。障害をなくすために、チューナーやテレビのアンテナには外部アンテナを使用し、同軸ケーブルで接続することをお勧めします。

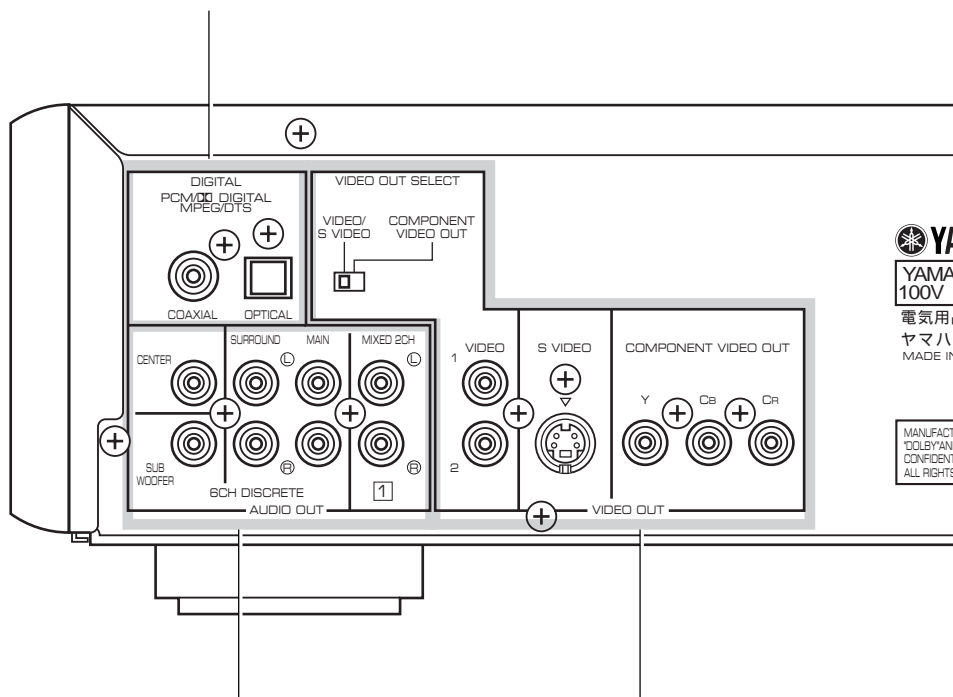
接続する機器の説明書も併せてお読みください。

本機の接続を大別すると、『デジタル音声の接続』『アナログ音声の接続』『映像の接続』の3つに分かれます。

それぞれ、確認して正しく接続してください。

本機の電源プラグは、デジタル音声の接続/アナログ音声の接続/映像の接続が全て完了するまで、コンセントに差し込まないでください。

【1】デジタル音声の接続 18ページ

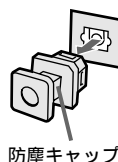


【2】アナログ音声の接続 20ページ

【3】映像の接続 22ページ

防塵キャップについて

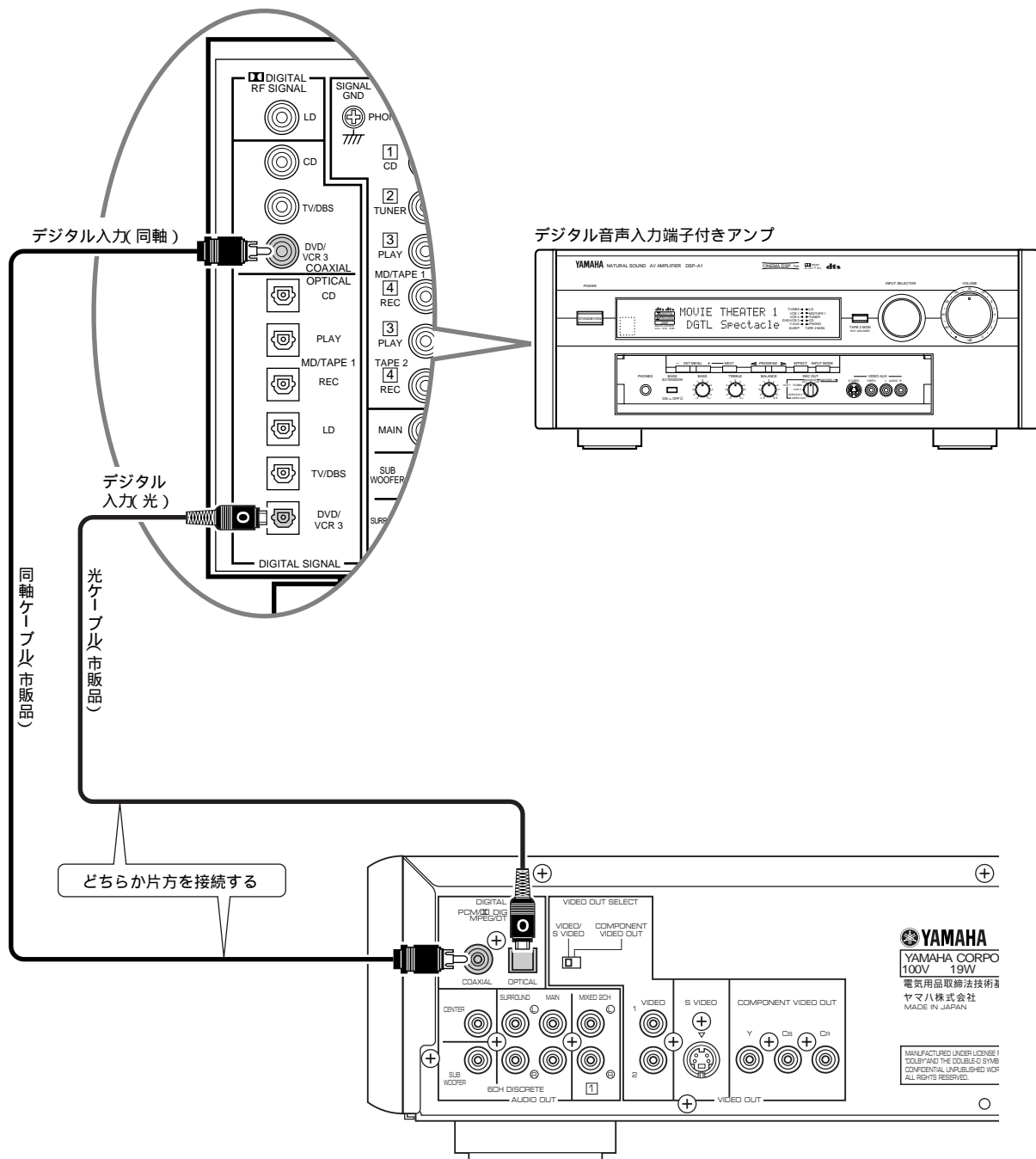
光デジタルケーブル(市販品)を接続する場合は、OPTICAL端子に付いているキャップを抜いてから接続してください。また、抜いたキャップは大切に保管してください。端子を使用しない場合は、必ずキャップを差し込んでください。(ほこりなどの侵入を防ぎます。)



【1】デジタル音声の接続

接続してご利用になるアンプ(信号を受ける側)にデジタル音声入力端子(DIGITAL IN)がある場合、本機と接続してください。本機のデジタル音声出力端子には、COAXIAL[同軸]OPTICAL[光]があります。

OPTICAL端子には光デジタルケーブル(市販品)を、COAXIAL端子にはオーディオ同軸ケーブル(市販品)を使用します。デジタル音声の接続に引き続いて、アナログ音声/映像の接続も行ってください(20, 22ページ参照)。



デジタル音声について

ディスクの種類やソフト制作者の意図によって、収録されるデジタル音声方式(デジタル・オーディオ・フォーマット)はいろいろあります。また、DVDでは同一DVDディスク上に、複数フォーマットのデータが書き込まれている場合もあります。(下表は各ディスクに収録可能なデジタル音声方式を示しています。)

ディスクに収録されている音声方式については、それぞれディスクの説明書をご覧ください。

本機は5種類の音声方式(PCM/ドルビーデジタル/MPEG-1&2/DTS)を識別でき、デジタル音声出力端子からデジタル音声を出します。

ディスクの種類	デジタル音声方式(デジタル・オーディオ・フォーマット)				
	リニアPCM (2チャンネル)	ドルビー デジタル	MPEG-1 AUDIO	MPEG-2 AUDIO	DTS
DVD					
ビデオCD	(オーディオトラック)	-	-	-	-
音楽CD		-	-	-	-

: 有り
- : 無し

DVDディスクのデジタル音声を聴くには

接続するデジタル音声入力端子付きアンプ(信号を受ける側)の条件として、音声方式(ドルビーデジタル/MPEG/DTS)に対応したデコーダ機能が必要となります。

アンプ側(信号を受ける側)に、音声方式に対応したデコーダ機能が無い場合は、ディスクに収録されたデジタル音声を聴くことができません。

注意

音声方式に対応したデコーダ機能が無いアンプでデジタル音声を直接つないで聴くと、大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

その場合、DVDディスクのドルビーデジタル/MPEGに関しては本機の初期設定に含まれる[音声設定：デジタル出力]の[ドルビーデジタル/MPEG]を[PCM]に設定することにより、リニアPCM方式(2チャンネル)に変換してデジタル出力することが可能です(43ページ参照)。

ただし、DTS音声方式は、変換できません。

* DTSデコーダ機能を搭載していないアンプでは、DTS音声を再生できません。

音声設定とデジタル音声出力の関係

ドルビーの設定	[ディスク音声]を選択 ドルビーデジタルのビットストリームを出力する。	[PCM]を選択 48kHz, 2chのPCMデータを出力する。
MPEGの設定	[ディスク音声]を選択 MPEG2 AUDIO MPEG2 AUDIOのビットストリームを出力する。 MPEG1 AUDIO MPEG1 AUDIOのビットストリームを出力する。	[PCM]を選択 48kHz, 2chのPCMデータを出力する。 48kHz, 2chのPCMデータを出力する。
DTSの設定	[ディスク音声]を選択 DTSのビットストリームを出力する。	[切]を選択 DTSはミュートされる。
96kHz LPCMの設定	[48kHz PCM]を選択 96kHzの音声は48kHzにダウンサンプリングされて出力される。	[切]を選択 96kHzのPCMはミュートされる。

* 48kHzのPCM音声は、この設定に関らず、常にオリジナル(48kHz)のPCMデータが出力されます。

* 工場出荷時の設定は、■がついた項に設定されています。

ビデオCD/音楽CDのデジタル音声について

ビデオCD/音楽CDは、[音声設定：デジタル出力]の設定に関わらず、常に44.1kHzのPCM音声を出します。

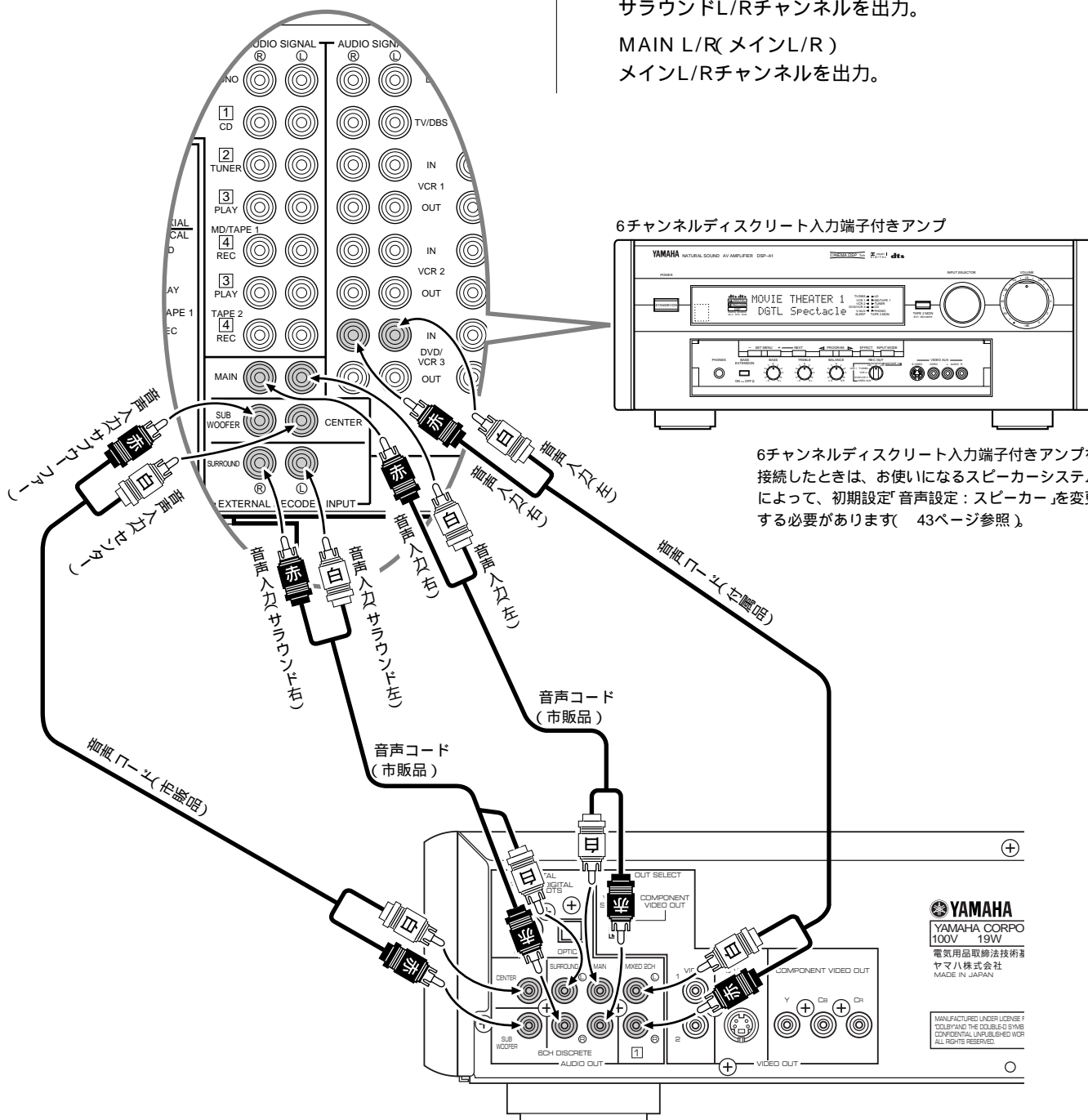
【2】アナログ音声の接続

本機のアナログ音声の出力には、6CH DISCRETE(6チャンネルディスクリット)音声出力端子とMIXED 2CH L/R(ミックス2チャンネルL/R)音声出力端子があります。

MIXED 2CH L/R音声出力端子
ステレオL/R(2チャンネル)を出力します。
アンプの音声入力端子(LINE IN)につなぎます。
付属の映像/音声コード(赤・白)で、L/Rを合わせて接続します。

6CH DISCRETE音声出力端子
市販の音声コードで、6チャンネルディスクリット入力端子付きアンプに、それぞれのチャンネル名を合わせて接続します。

- CENTER(センター)
センターチャンネルを出力。
- SUB WOOFER(サブウーファー)
サブウーファーチャンネルを出力。
- SURROUND L/R(サラウンドL/R)
サラウンドL/Rチャンネルを出力。
- MAIN L/R(メインL/R)
メインL/Rチャンネルを出力。



6チャンネルディスクリット入力端子付きアンプを接続したときは、お使いになるスピーカーシステムによって、初期設定の音声設定:スピーカーを変更する必要があります(43ページ参照)。

YAMAHA
YAMAHA CORPO
100V 19W
電気用品取締法技術者
ヤマハ株式会社
MADE IN JAPAN

MANUFACTURED UNDER LICENSE FROM
YAMAHA AND THE DOUBLE-DIGIT
CONFIDENTIAL UNPUBLISHED WORK
ALL RIGHTS RESERVED

アナログ音声について

DVDディスクを再生した場合、ディスクに収録されている音声方式と本機の初期設定に含まれる[音声設定：デジタル出力]の設定によって、アナログ音声出力の状態が変わります。

PCM音声方式の場合は、設定に関係なくアナログ出力しますが、ドルビーデジタル/MPEG-1・2方式の場合は、[PCM]に設定することにより、アナログ音声を出力します。DTS方式の場合は、アナログ音声を出力することはできません。

* ビデオCD/音楽CDは、設定に関係なく常にアナログ音声を出力します。

DVDディスクの音声方式と音声設定によるアナログ音声出力の関係

ドルビーの設定	[ディスク音声]を選択		[PCM]を選択	
	6CH DISCRETE出力 ミュート	MIXED 2CH出力 ミュート	6CH DISCRETE出力 6チャンネルディスクリート出力	MIXED 2CH出力 ステレオ出力(*1)
MPEGの設定	[ディスク音声]を選択		[PCM]を選択	
	6CH DISCRETE出力 ミュート	MIXED 2CH出力 ミュート	6CH DISCRETE出力 MAIN L/Rのみ出力(*2)	MIXED 2CH出力 ステレオ出力(*2)
DTSの設定	[ディスク音声]を選択		[切]を選択	
	6CH DISCRETE出力 ミュート	MIXED 2CH出力 ミュート	6CH DISCRETE出力 ミュート	MIXED 2CH出力 ミュート
96kHz LPCMの設定	[48kHz PCM]を選択		[切]を選択	
	6CH DISCRETE出力 MAIN L/Rのみ出力	MIXED 2CH出力 ステレオ出力	6CH DISCRETE出力 MAIN L/Rのみ出力	MIXED 2CH出力 ステレオ出力

(*1)6チャンネルを2チャンネル(ステレオ)にミックスダウンして出力します。

(*2)MPEG-2音声は、MPEG-1と互換部分(ステレオ部分)のみ再生されます。

* 工場出荷時の設定は、■がついた項に設定されています。

アナログ音声を聴くには

下記の**1**~**4**の準備が必要となります。

- 1.** ディスクに収録されている音声方式がPCM音声以外の場合は、本機の初期設定に含まれる[音声設定：デジタル出力]を[PCM]に設定してください(43ページ参照)。
* DTS音声は、音声設定に関係なくアナログ出力できません。
- 2.** 接続したアンプ側(信号を受ける側)の入力(デジタル/アナログ)モードをアナログに切り替えてください。
- 3.** アンプ側(信号を受ける側)の2CH/6CH入力切り替えで2CH/6CHを選択してください。
ドルビーデジタル再生時は、6CHを選択します。
* 詳しくは、アンプの取扱説明書をご覧ください。
- 4.** 6CHを選択した場合は、お使いになるスピーカーシステム(メイン/センター/サラウンド/サブウーファー)のサイズや有無に合わせて、初期設定[音声設定：スピーカー]の各スピーカー項目で、[大]/[小]/[なし]を設定します(43ページ参照)。

* 工場出荷時の初期設定[音声設定：スピーカー]は、[メイン：大、センター：小、サラウンド：小、サブウーファー：あり]に設定されています。

【3】映像の接続

本機の映像出力は、VIDEO 1/2出力端子(ビデオ1/2)、S VIDEO出力端子(Sビデオ)、COMPONENT VIDEO OUT出力端子(コンポーネントビデオアウト)があります。テレビまたはプロジェクター側にある映像入力端子に合わせて、接続します。テレビまたはプロジェクター側にある映像入力端子(コンジット/Sビデオ/コンポーネント：色差映像)のいずれか1つを接続してください。

VIDEO 1/2出力端子(ビデオ 1/2)
VIDEO 1/2からコンジット映像を出力します。
VIDEO 1/2のいずれかに付属の映像/音声コード(黄)で接続します。

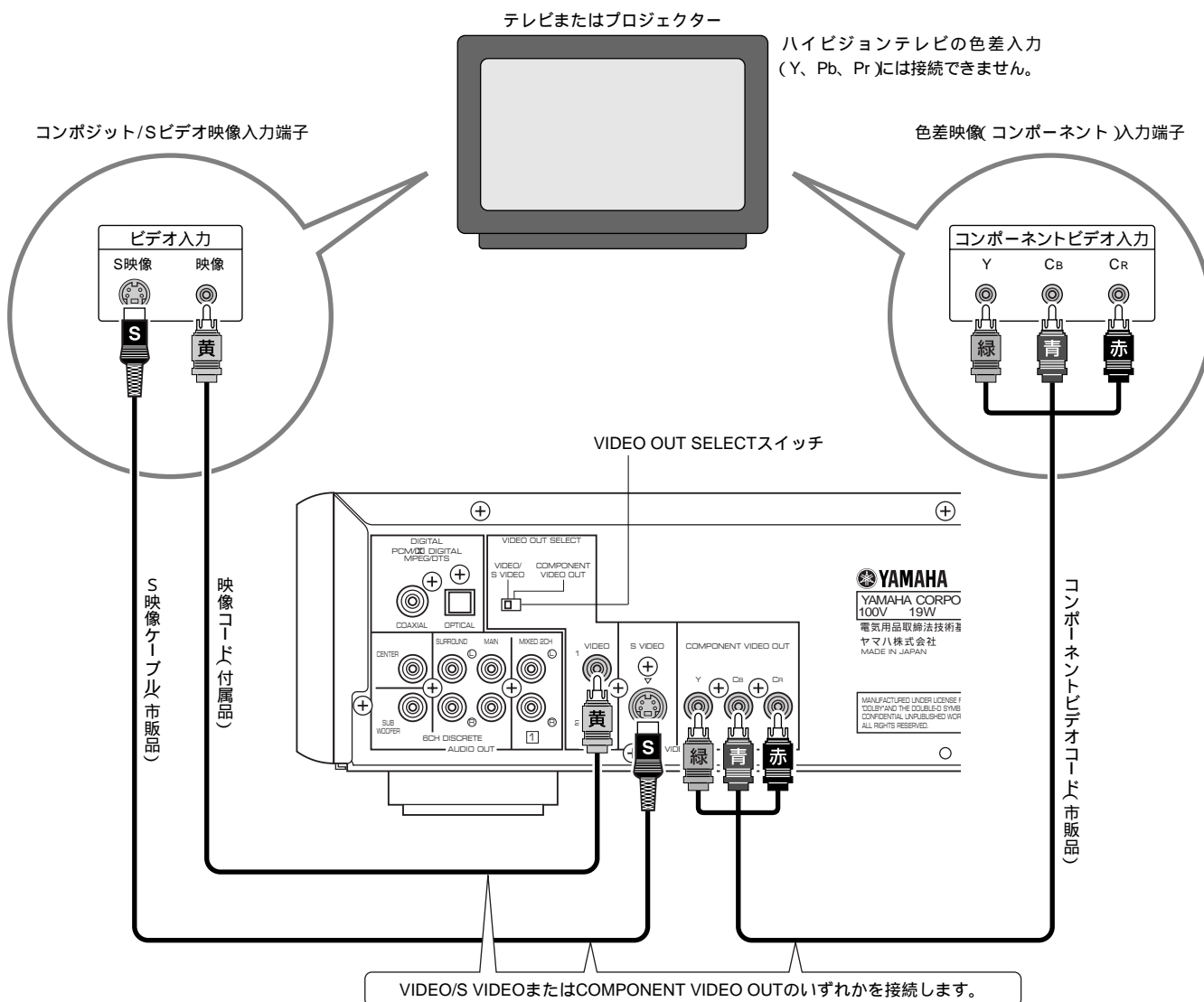
S VIDEO出力端子(Sビデオ)
S映像を出力します。
市販のS映像ケーブルで接続します。

COMPONENT VIDEO OUT出力端子
(コンポーネントビデオアウト)
コンポーネント(色差映像)を出力します。
市販のコンポーネントビデオコードで接続します。

注意

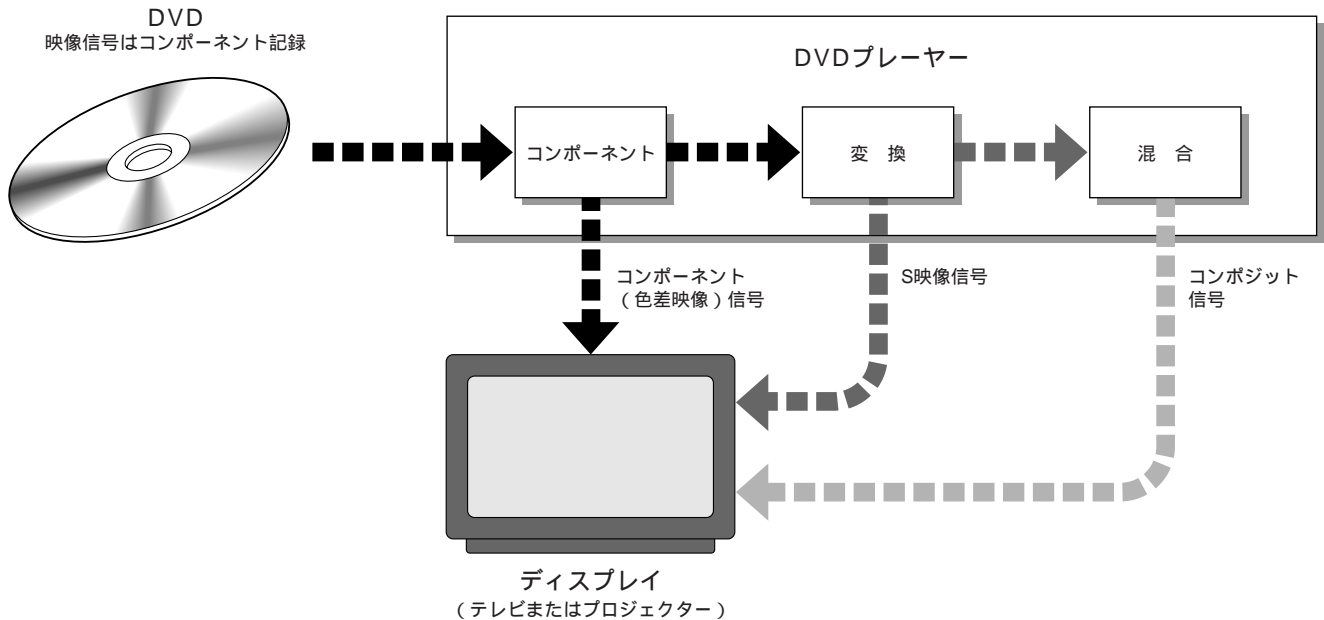
ハイビジョンテレビの色差入力(Y、Pb、Pr)には接続できません。

接続するテレビのタイプ(通常/ワイド)に応じて、初期設定[TVタイプ]を変更する必要があります(43ページ参照)



コンポーネント(色差映像)について

DVDの映像信号は、輝度信号と色信号が分離したコンポーネントの状態記録されています。
DVDプレーヤーとディスプレイをコンポーネント信号で接続することで、色差(コンポーネント)信号から色信号(S映像/コンポジット)に生成しない分、より忠実に映像を再現することが可能となります。



VIDEO OUT SELECTスイッチ(ビデオアウトセレクト)

映像信号を出力する映像端子を選ぶスイッチです。出力する映像端子名「COMPONENT VIDEO OUT(色差信号)」または「VIDEOX コンポジット信号」/「S VIDEOX Sビデオ信号」に合わせて切り替えてください。3つの映像を同時に出力することはできません。

スイッチの切り替えは、再生停止中または電源OFF時に行ってください。再生中に切り替えても、正常に出力されません。

接続するアンプにモニター映像出力端子がある場合

接続するアンプにモニター映像出力端子がある場合には、アンプを経由してテレビを接続します。複数の映像ソースを1台のテレビでモニターすることができます。

1. 本機のVIDEOX S VIDEO 端子とアンプのDVD/LD映像入力端子を接続します。
2. アンプのモニター映像出力端子とテレビを接続します。
(手順1で接続している映像端子と同じ種類の端子で接続してください。)

注意

本機はマクロピジョン方式のコピーガードシステムに対応しています。
本機の映像出力を、下図のようにビデオデッキを経由してテレビに接続した場合、コピーガード信号の入ったDVDディスクでは、再生画面が乱れることがあります。



使う前に必要な設定

DVDの映像や音楽を再生するにあたって、あらかじめ接続したテレビ(プロジェクター)やアンプ、スピーカーなどの機器(機能)に合わせて、本機の出力方式を設定する必要があります。以下の項目を確認して、43ページの「初期設定の変更」に従い設定を行ってください。

接続したテレビ
(プロジェクター)の
種類に合わせて、

ワイドテレビに接続した場合
[DVD設定: TVタイプ]を[ワイド 16:9]にします。
通常のテレビに接続した場合
[DVD設定: TVタイプ]を[通常 4:3]にします。

デジタル接続した場合は、
(デジタル音声を聴く)

接続したアンプ側(信号を受ける側)のデコーダ機能(有無)に合わせて、
[音声設定: デジタル出力]の項目で音声出力を設定します。

[音声設定: デジタル出力]の項目	設定
[96kHz LPCM]	[48kHz PCM]にします
[ドルビーデジタル]	有る場合は[ディスク音声]にします 無い場合は[PCM]にします
[DTS]	有る場合は[ディスク音声]にします 無い場合は[切]にします
[MPEG]	有る場合は[ディスク音声]にします 無い場合は[PCM]にします

アナログ接続した場合は、
(アナログ音声を聴く)

アナログ音声を出力するために、
[音声設定: デジタル出力]の項目で音声出力を設定します。
ただし、DTSのアナログ出力はできません。

[音声設定: デジタル出力]の項目	設定
[96kHz LPCM]	[切]にします
[ドルビーデジタル]	[PCM]にします
[MPEG]	[PCM]にします

6チャンネルディスクリートを接続した場合は、お使いになるスピーカーシステム(メイン/センター/サラウンド/サブウーファー)のサイズや有無に合わせて、[音声設定: スピーカー]の各スピーカー項目で、[大][小][あり][なし]を設定します。

* 6チャンネルディスクリートの、ドルビーデジタル5.1チャンネルのみです。

また、お子様などに見せたくないDVDソフト(成人向け)など、視聴制限レベルを設定して、再生を制限することができます(この設定は、視聴制限レベルが記録されているDVDに対してのみ有効です)。

初期設定の[DVD設定][6 視聴制限レベル]で、暗証番号とレベルを設定します。

その他、初期設定で[字幕言語][音声言語]などを設定することができます。くわしくは、「初期設定の変更(43ページ)」をご覧ください。

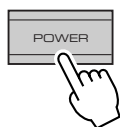
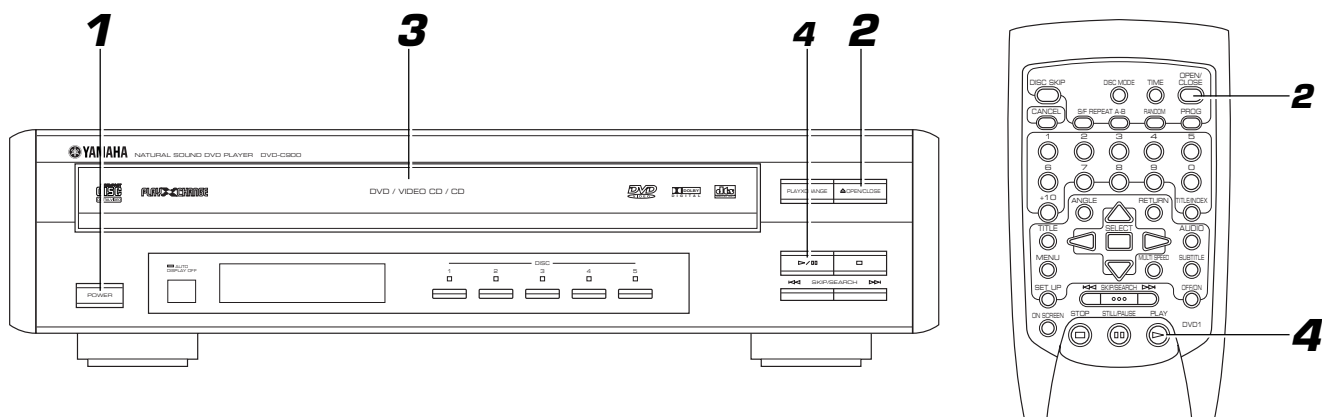
DTS音声を聴くには

DTS音声は、DTSデコーダ機能を搭載しているアンプを接続した場合のみ再生できます。DTSデコーダ機能を搭載していないアンプでは、DTS音声を再生できません。

ディスクを再生する(基本的な操作)

準備

テレビ(プロジェクター)の電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
アンプなど、本機に接続している外部機器の電源を入れます。



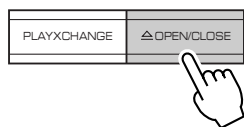
1. 本体のPOWER^{パワー}ボタンを押して電源を入れます。
本体ディスプレイのインジケータが必要に応じて点灯します。またTV画面には初期設定の[表示設定: 背景画面]に従う背景画面が表示されます。

例)「ディスクなし」で電源を入れた場合



メモ

初期設定の[表示設定: フロントパネル表示器]が[切]に設定している場合は、本機のディスプレイは薄暗く点灯します。(このときAUTO DISPLAY OFFのインジケータが点灯します)

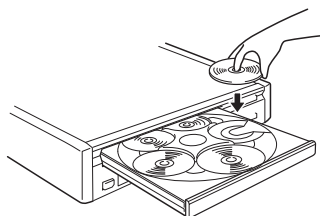


2. リモコンまたは本体のOPEN/CLOSE^{オープン クローズ}ボタンを押してディスクトレイを出します。

3. ディスクトレイにディスクを置きます。
ディスクは、ラベルの印刷面を上にして置きます。
ディスクトレイには1～5のディスク番号が付いています。同時に最高5枚までディスクをセットできます。DVD、ビデオCD、音楽CDを混ぜてセットすることもできます。

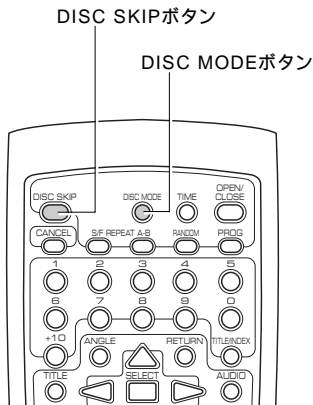
注意

トレイのガイド位置からずれてディスクを置くと、ディスクを破損したり、ディスクを正しく検出することができない場合があります。ディスクをガイド位置に合わせて、正しく置いてください。

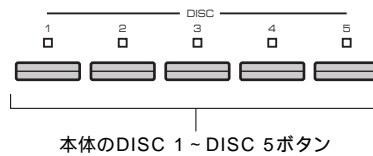


4. リモコンのPLAY^{プレイ}ボタンまたは本体の▶/▶▶ボタンを押して、ディスクを再生します。
PLAY(または▶/▶▶)ボタンを押すと、自動的にディスクトレイが閉じ、ディスクの再生が始まります。

複数のディスクをセットした場合は、次のようなことができます。



希望のディスクを選んで再生する。
ディスク スキップ
リモコンのDISC SKIPボタンを押して、再生するディスクを切り替えることができます。
ディスク ディスク
また、本体のDISC 1 ~ DISC 5ボタンを使って再生するディスクを選ぶこともできます。



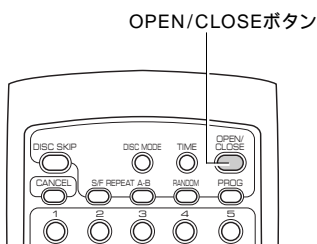
最大5枚のディスクを連続再生する。
ディスク モード
リモコンのDISC MODEボタンを押してディスクの再生モードを5DISCにしておくと、1枚目のディスクの再生終了後、2枚目 3枚目 4枚目 5枚目と自動的に連続再生します。1DISCにしておくと、指定したディスクだけが再生されます。
複数のディスクでのプログラム再生、ランダム再生、リピート再生ができます。詳しくは34 ~ 38ページをご覧ください。

注意

一部のDVDディスクやビデオCD(バージョン2.0)ディスクでは、5DISCに設定しても連続再生できない場合があります。(メニュー画面でユーザーが選択操作を行わない限り、先に進まないコンテンツなど)

プログラム再生、ランダム再生中は、DISC MODEを切り替えることはできません。

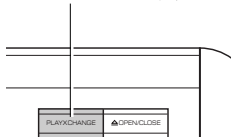
ディスクの交換について



デスクトレイを開けるには、2つの方法があります。

オープン クローズ
リモコンまたは本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。
デスクトレイを開けると、ディスクの再生モードは一部の設定(フルリピートおよび1DISC/5DISCの設定)を除き解除されます。

PLAYXCHANGEボタン

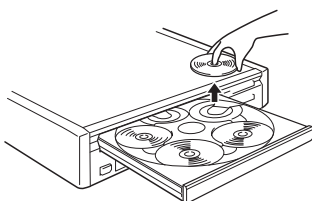


プレイエクスチェンジ
本体のPLAYXCHANGEボタンを押す。
ディスク再生中(一時停止中)に、再生状態を保ったままデスクトレイを開けることができます。ディスクの再生モード(リピート設定、ランダム再生設定、1DISC/5DISCの設定)も保持されます。ただしプログラム再生は解除されます。

デスクトレイを閉める場合は、リモコンまたは本体のOPEN/CLOSEボタン、本体のPLAYXCHANGEボタンいずれでもかまいません。

注意

PLAYXCHANGEのときは、デスクトレイの手前側のディスク4枚は交換可能です。一番奥のところにはディスクを入れしないでください。



DVDでメニュー画面が表示された場合

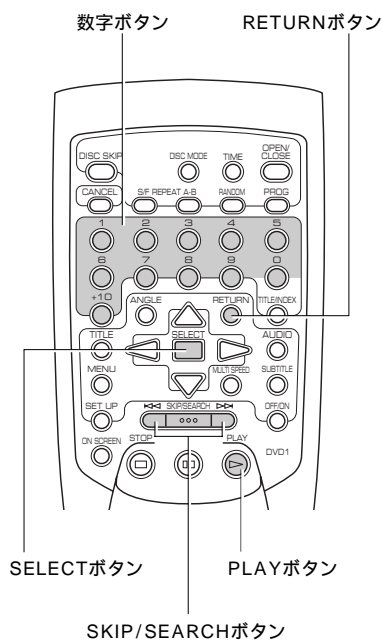
再生するDVDによっては、タイトルメニューやDVDメニュー画面が自動的に表示される場合があります。

見たい項目を選んだり字幕や音声を選ぶことができます。詳しくは次ページの「タイトルメニューの表示」、「DVDメニューの表示」をご覧ください。

ビデオCDでメニュー画面が表示された場合

本機のプレイバック制御機能を有効にして、プレイバック制御対応のビデオCD(バージョン2.0)を再生した場合は、メニュー画面が自動的に表示されます。プレイバック制御とは、表示されるメニュー画面(選択画面)を使って、対話形式で再生を進めていく機能です。

以下の4つの基本ボタンと数字ボタンだけでシーンの切り替えや再生を行うことができます。



プレイバック制御の基本的操作ボタン

操作名&内容	操作ボタン
数字操作 : メニュー番号の選択	数字ボタンで数字(番号)を入力する
SELECT操作 : シーンの再生	PLAYボタンまたはSELECTボタンを押す
NEXT操作 : 次のシーンに進む	SKIP/SEARCH ▷▷ボタンを押す
PREVIOUS操作 : 前のシーンに戻る	SKIP/SEARCH ◁◁ボタンを押す
RETURN操作 : 前(元)のメニュー画面に戻る	RETURNボタンを押す

例)

1 東アジア
2 南アジア
3 中近東
4 アフリカ
5 ヨーロッパ

メモ

プレイバック制御機能の操作については、ディスクに記録されたプログラムメニューに依頼します。再生するビデオCD(VCD)に付属の説明書も必ずご覧ください。

常時プレイバック制御機能を使わずに再生する場合は、初期設定の[VCD設定: プレイバック制御]を[切]に設定します。選択用のメニュー画面は表示されずに再生されます。

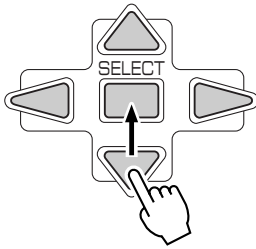
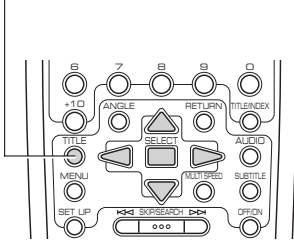
また、[VCD設定: プレイバック制御]を[入]に設定していても、以下の操作を行った場合は、プレイバック制御機能が解除されて再生されます。

- ・ディスク停止中にトラックスキップ操作を行った場合。
- ・ディスク停止中にサーチ操作(トラック、インデックス、タイム)を行った場合。

プログラム再生またはランダム再生の場合は、[入]に設定していてもプレイバック制御は解除されます。

DVD固有の操作

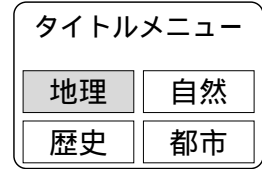
TITLEボタン



タイトルメニューの表示

複数のタイトルが収録されたDVDを再生する場合は、^{タイトル}TITLEボタンを押してタイトルメニュー画面を表示させます。タイトルメニューから見たいタイトルを選んで再生することができます。DVDを再生すると自動的にタイトルメニューが表示されるものもあります。

例)

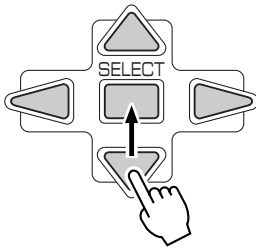
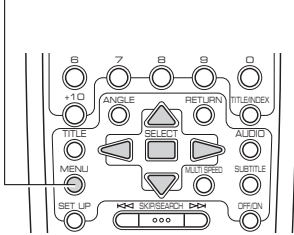


タイトルメニューの表示の中から再生したいタイトルをカーソルボタンで選び、^{セレクト}SELECTボタンを押すと、そのタイトルの再生がスタートします。

メモ

DVDによっては、数字ボタンでタイトルを選べるものもあります。

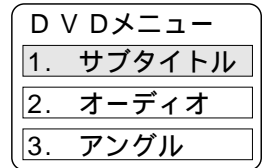
MENUボタン



DVDメニューの表示

DVDメニューを持ったDVDの場合は、^{メニュー}MENUボタンを押すとDVDメニューが表示されます。また、ディスクによっては再生を開始すると自動的にDVDメニューが表示されるものもあります。

例)



DVDメニューの表示の中から設定したい項目をカーソルボタンで選び、^{セレクト}SELECTボタンを押して設定します。

メモ

DVDによっては、数字ボタンで設定項目を選べるものもあります。

字幕(サブタイトル)言語の設定

複数の字幕言語が収録されたDVDは、再生中、字幕言語を切り替えることができます。^{サブタイトル}再生時にSUBTITLEボタンを押すごとに、DVDに用意されている字幕言語が切り替わります。

例)

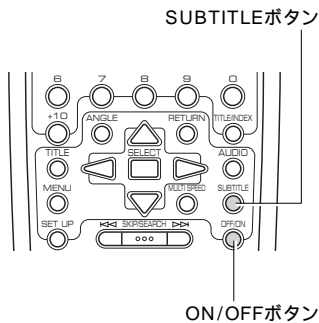
- 字幕 1 日本語 入
- 字幕 2 英語 入
- 字幕 3 日本語 入

字幕を表示させたくない場合は、^{オフ}OFF/^{オン}ONボタンを押します。

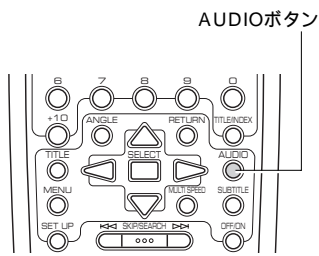
メモ

初期設定であらかじめ字幕言語を指定しておくこともできます。(43ページ)

DVDには、再生中の字幕言語切り替えを禁止しているディスクがあります。



音声言語の設定



複数の音声言語が収録されたDVDは、再生中、音声言語を切り替えることができます。

再生時にAUDIOボタンを押すごとに、DVDに用意されている音声言語が切り替わります。

例)

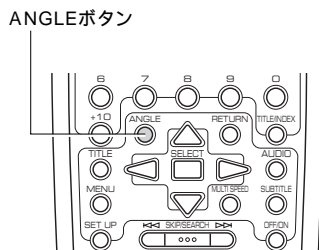
音声 1	英語	ドルビーデジタル
音声 2	日本語	ドルビーデジタル

メモ

初期設定であらかじめ音声言語を指定しておくこともできます。(43ページ)

DVDには、再生中の音声言語切り替えを禁止しているディスクがあります。

アングルの設定



複数のアングルから撮影された場面が収録されたDVDは、アングルを切り替えることができます。

マルチアングルで収録されているシーンの再生中、ANGLEボタンを押すことでアングルを切り替えて再生することができます。

例)

アングル1
アングル2
アングル3

注意

DVDにマルチアングルが収録されていないシーンでは、アングルの変更はできません。



マルチアングルアイコンについて

初期設定の[表示設定：ガイド表示]が[入]になっている場合、DVDディスクの再生中に、マルチアングルで収録されているシーンになると、左記のアイコンが表示されます。このシーンではアングルが切り替えられます。

再生のコントロール

再生を途中で止める

ストップ
STOPボタンを押します。

本機には“続き再生”メモリー機能があります。
再生中にSTOPボタンを押すとその停止位置をメモリーしていて、リモコンのPLAYボタンまたは本体の▶/◀ボタンを押すとその停止位置から再生をスタートします。

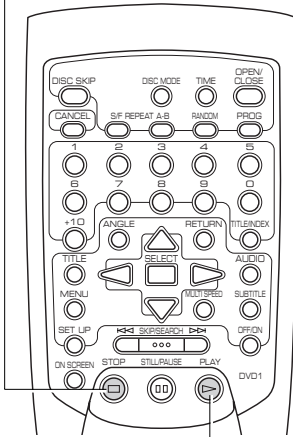
メモ

STOPボタンを押した後、もう一度STOPボタンを押す、またはディスクトレイを開けると、“続き再生”メモリー機能は無効となります。

“続き再生”メモリー機能が働いている場合は、電源を「切」入しても停止位置はメモリーされています。

DVDにおいて、停止した場所によっては、“続き再生”メモリー機能が働かない場合があります。

STOPボタン



PLAYボタン

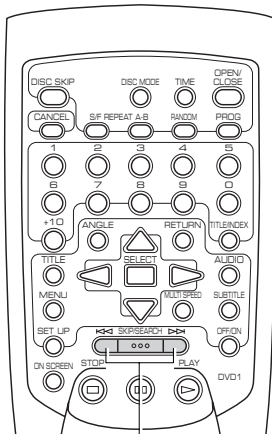
早送り/早戻しする

スキップ サーチ
再生中にSKIP/SEARCHボタンを押し続けます。

◀◀が戻し方向、▶▶が送り方向です。押し続けている間早送り/早戻しを続け、ボタンを離すと通常の再生に戻ります。ボタンを押し続けている時間が短いとチャプター/トラックの頭出し機能が働きます。

メモ

DVDには、早送り/早戻しの禁止区間が設けられているディスクがあります。禁止している区間になると早送り/早戻しは自動的に解除されます。

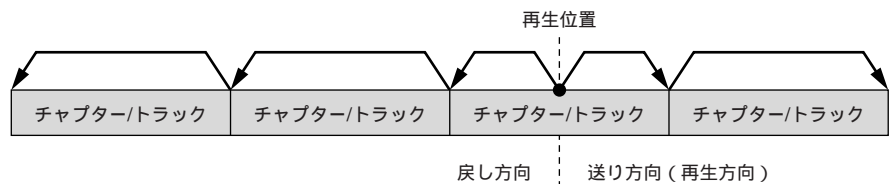


SKIP/SEARCHボタン

頭出しする

スキップ サーチ
SKIP/SEARCHボタンをポンと押します。

▶▶ボタンを押すごとに次のチャプター/トラックの先頭位置に移動して再生します。
◀◀ボタンを1回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に帰り、その後はボタンを押すごとに1つ前のチャプター/トラックの先頭位置に移動して再生します。



メモ

DVDには、頭出し禁止区間が設けられているディスクがあります。

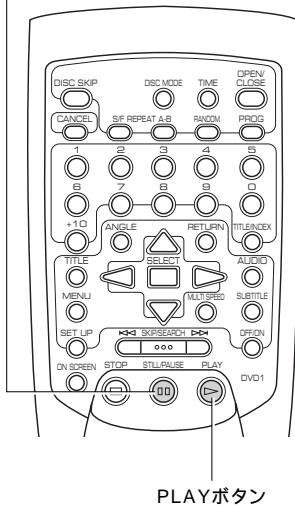
ビデオCD(バージョン2.0)は、プレイバック制御「入」の場合、ディスクに指定された動作をします。(27ページ)

再生を一時停止(ポーズ)する

スティル ポーズ

リモコンのSTILL/PAUSEボタンまたは本体の▷/◻のボタンを押します。静止画を表示した状態で一時停止します。リモコンのPLAYボタンまたは本体の▷/◻ボタンを押すと再び再生を開始します。

STILL/PAUSEボタン



コマ送りする

スティル ポーズ

再生一時停止状態でリモコンのSTILL/PAUSEボタンを押します。再生の一時停止状態(静止画表示)でSTILL/PAUSEボタンを押すごとに1コマずつ前進します。

リモコンのPLAYボタンまたは本体の▷/◻ボタンを押すと再び再生を開始します。

メモ

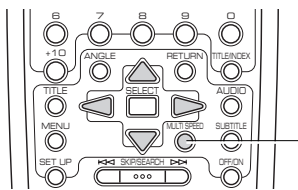
次に説明するマルチスピード再生ではコマ送り/コマ戻しすることができます。音楽CDではコマ送り/コマ戻し操作はできません。

スロー再生/高速再生する(マルチスピード再生)

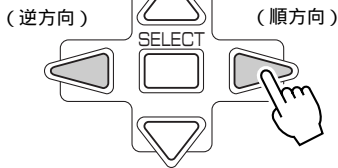
マルチ スピード

再生中にMULTI SPEEDボタンを押します。再生中にMULTI SPEEDボタンを押すと、再生速度を変更できるマルチスピード再生モードに入ります。

MULTI SPEEDボタン

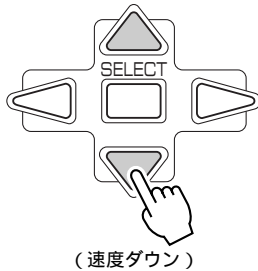


再生の方向



再生速度

(速度アップ)



(速度ダウン)

カーソルボタンで再生の方向と再生速度を設定します。
◀/▶ボタンで再生の方向を設定(▶ボタンで順方向、◀ボタンで逆方向)します。
▲/▼ボタンで再生速度を設定(▲ボタンで速度アップ、▼ボタンで速度ダウン)します。設定できる速度は以下の通りです。

再生方向 = 順方向の場合

設定	再生速度
静止画	α(停止)
スロー送り 1	1/16倍速
スロー送り 2	1/2倍速
標準再生(▷表示)	1倍速
早送り 1	2倍速
早送り 2	16倍速

再生方向 = 逆方向の場合

設定	再生速度
静止画	α(停止)
スロー戻し 1	1/60倍速
早戻し 1	2倍速
早戻し 2	16倍速

静止画状態で◀/▶ボタンを押すと、コマ送り/コマ戻しすることができます。(ビデオCDはコマ戻しできません。)

注意

マルチスピード再生時には、音声は出ません。
ビデオCDではスロー戻し1操作はできません。
音楽CDではマルチスピード再生はできません。

位置を指定して再生開始する(サーチ操作)

ディスクにはチャプター/タイトル(DVD)、トラック/インデックス(ビデオCD, 音楽CD)といった目次のような情報が記録されています。

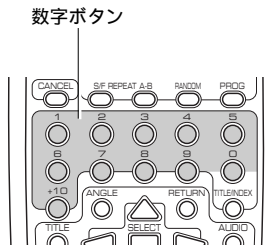
これらの位置を指定して、そこから再生を開始させたり、その位置で一時停止させておくことができます。

また、ディスク上の時間で位置を指定することもできます。

チャプター/トラックサーチ

ディスクに記録されているチャプター/トラックの番号を数字ボタンで入力すると、そこから再生を開始する機能です。

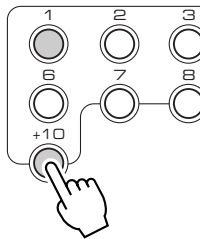
ディスク再生中でも、ディスク停止中でも設定できます。



注意

ビデオCD(バージョン2.0)でプレイバック制御をオンにした再生中は、トラックサーチは行えません。

例)チャプター番号21から再生する場合



1. 数字ボタンを[+10][+10][1]と押します。

2. TV画面および本体ディスプレイにチャプター番号21が表示され、ディスクはチャプター21から再生開始されます。

チャプター 21

DVDのときは、“チャプター”、
ビデオCD/音楽CDのときは
“トラック”となります。

注意

再生開始直後(オープニング表示)などタイトルの区切り付近を再生しているときに、+10キーを使ったチャプターサーチの入力操作をしても、目標の値までカウントアップできないことがあります。そのようなときは、一旦CANCELボタンを押してチャプターサーチ(+10)入力モードを抜け、再度チャプターサーチを行ってください。

メモ

10以上のケタの入力には、上記例のように[+10]ボタンを使います。たとえば56という数値を入力する場合は、[+10]ボタンを連続5回押してから[6]ボタンを1回押します。

ディスクに記録されているチャプター/トラック番号より大きな数値を入力したときは、最後のチャプター/トラック番号が再生します。

DVDには、チャプターサーチを禁止しているディスクがあります。

タイトル/インデックスサーチ

ディスクに記録されているタイトル/インデックスの番号を数字ボタンで入力すると、そこから再生を開始する機能です。

ディスク再生中でも、ディスク停止中でも設定できます。

例)タイトル番号6から再生する場合

1. TITLE/INDEXボタンを押してタイトル/インデックスサーチの設定画面にします。

TV画面および本体ディスプレイにタイトル/インデックス番号の入力待ち画面が表示されます。

ボタンを押すごとに

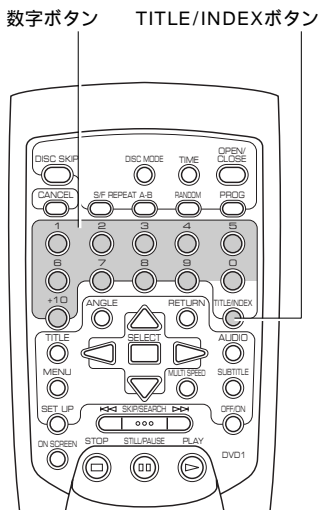
タイトル/インデックスサーチ タイムサーチ サーチ解除

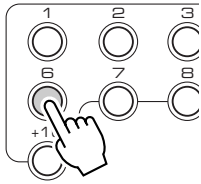
と切り替わります。

タイトル



DVDのときは、“タイトル”、
ビデオCD/音楽CDのときは
“インデックス”となります。





2. 数字ボタンの[6]を押します。

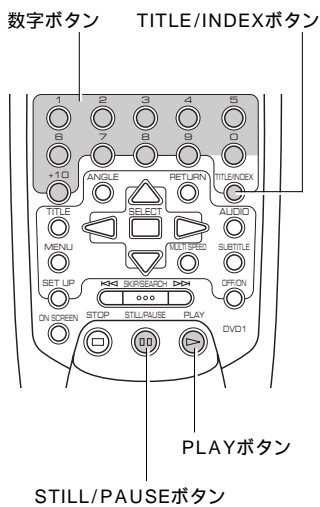
TV画面および本体ディスプレイにタイトル番号6が表示され、ディスクはタイトル6から再生開始されます。

メモ

10以下のケタの入力には、上記例のように[0]-[9]ボタンを使います。[+10]ボタンの入力がなく[0]-[9]ボタンが押されると、自動的に1桁の数値として入力値が確定されます。

DVD/音楽CDは、ディスクに記録されているタイトル/インデックス番号より大きな数値を入力すると、最後のタイトル/インデックス番号を再生します。

DVDには、タイトルサーチを禁止しているディスクがあります。



タイムサーチ

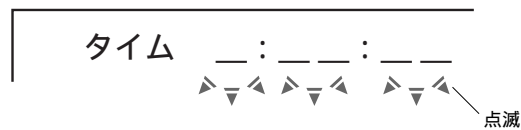
指定した時間から再生を開始します。または指定した時間で一時停止します。

例) 52分12秒のところから再生する場合

1. タイトル インデックス TITLE/INDEXボタンを押してタイムサーチの設定画面にします。TV画面および本体ディスプレイに時間値の入力待ち画面が表示されます。ボタンを押すごとに

タイトル/インデックスサーチ タイムサーチ サーチ解除

と切り替わります。



2. 数字ボタンを[5] [2] [1] [2]と押します。

TV画面および本体ディスプレイに「 : 52 : 12 」が表示されます。

3. リモコンのプレイPLAYボタンまたは本体の▷/□ボタンを押します。

4. 指定した時間から再生が開始されます。

メモ

タイムサーチでは、上記のように[0]-[9]ボタンで上位ケタから下位ケタ方向に順に入力できます。

DVDには、タイムサーチを禁止しているディスクがあります。

指定した時間で一時停止させておくには、上記手順 **1**、**2** で時間設定後にリモコンの STILL/PAUSEボタンを押します。

注意

ビデオCD(バージョン2.0)でプレイバック制御をオンにして再生中(または一時停止中)は、タイムサーチは行えません。

再生開始直後(オープニング表示)などタイトルの区切り付近を再生しているときに、タイムサーチの入力操作をしても、警告マーク(△)が出てサーチできないことがあります。そのようなときは、一旦CANCELボタンを押してタイムサーチ入力モードを抜け、再度タイムサーチを行ってください。

繰り返し再生する(リピート再生)

リピート再生には、以下の3つのモードがあります。

- シングルリピート : ディスク内の1タイトル/トラックを繰り返し再生します。
- フルリピート : ディスクの再生モードが1DISCの場合は1つのディスクを繰り返し再生します。
ディスクの再生モードが5DISCの場合はトレイ上の全ディスクを繰り返し再生します。
- A-Bリピート : 指定した2点間を繰り返し再生します。

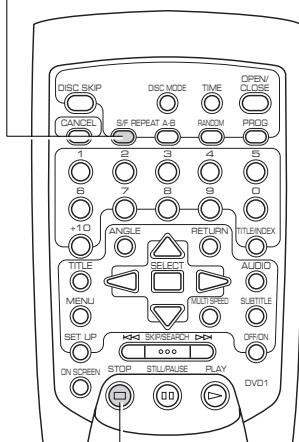
シングルリピート再生

DVDでは、1タイトルがシングルリピートの単位となります。ビデオCD、音楽CDでは1トラックがシングルリピートの単位となります。

注意

ビデオCD(バージョン2.0)でプレイバック制御をオンにして再生中は、シングルリピート再生できません。

REPEAT S/Fボタン



STOPボタン

1. ^{リピート} REPEAT S/Fボタンを押してシングルリピートの設定画面にします。ボタンを押すごとに

シングルリピート フルリピート リピートなし

と切り替わります。

シングルリピート

2. 再生中(一時停止中)に設定すると、そのタイトルをリピート再生します。停止中に設定した場合は、最初に再生したタイトルがリピート対象となります。
3. STOPボタンを押して停止するまで、シングルリピート動作を繰り返します。シングルリピートを解除するには、REPEAT S/Fボタンを押してリピートなしに設定します。
また、以下の操作をした場合も、シングルリピートは解除されます。

ディスクトレイを開けた場合。(プレイエクスチェンジを含まない)
REPEAT S/Fボタンを押してフルリピートを設定した場合。
REPEAT A-Bボタンを押した場合。
電源を切った場合。

注意

タイトルによっては、メニューなどを表示したまま停止状態となるものがあります。そのような場合は、自動的にリピートされません。

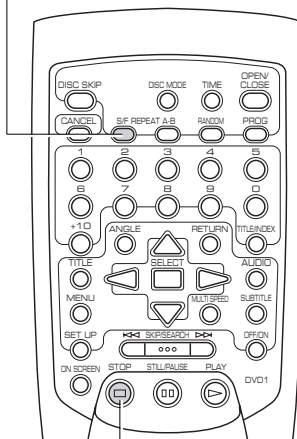
DVDのディスクによっては、正しいシングルリピート再生ができない場合があります。

フルリピート再生

ディスクの再生モード(1DISC/5DISC)や再生シーケンスモード(ノーマル再生/ランダム再生/プログラム再生)の違いにより、リピート動作が異なります。

再生シーケンスモード	ディスク再生モード	リピート動作
ノーマル再生	1DISC	再生対象ディスクを繰り返し再生します。
	5DISC	ディスクトレイ上のすべてのディスクを繰り返し再生します。
ランダム再生	1DISC	再生対象ディスクの全タイトル/トラックをランダムに再生し、これを繰り返します。
	5DISC	ディスクトレイ上のディスクから1枚をランダムに選択し、そのディスク内のタイトル/トラックをランダムに再生します。ディスクトレイ上のすべてのディスクについて、これを繰り返します。
プログラム再生	- - -	プログラムされた順序でタイトル/トラックを再生し、これを繰り返します。

REPEAT S/Fボタン



STOPボタン

1. ^{リピート} REPEAT S/Fボタンを押してフルリピートの設定画面にします。ボタンを押すごとに

シングルリピート フルリピート リピートなし

と切り替わります。

フルリピート

2. 再生を開始すると、STOPボタンを押して停止するまで、フルリピート動作を繰り返します。フルリピートを解除するには、REPEAT S/Fボタンを押してリピートなしに設定します。また、以下の操作をした場合も、フルリピートは解除されます。

REPEAT S/Fボタンを押してシングルリピートを設定した場合。
REPEAT A-Bボタンを押した場合。

注意

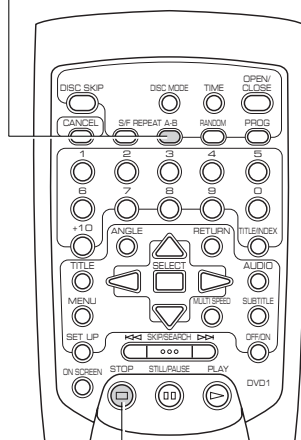
タイトルによっては、メニューなどを表示したまま停止状態となるものがあります。そのような場合は、自動的に次のタイトル/トラックの再生は開始されません。

DVDには、フルリピートできないディスクがあります。

A-Bリピート再生

指定した2点間を繰り返し再生します。再生中にリピートの開始点(A点)と終点(B点)を指定します。

REPEAT A-Bボタン



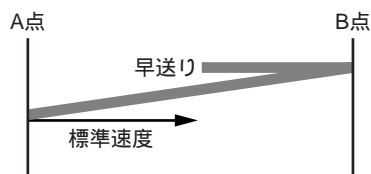
STOPボタン

1. ディスクを再生します。
2. リピートを開始したい位置で、REPEAT A-Bボタンを押します。開始点(A点)が設定され、終点(B点)の入力待ちの状態になります。

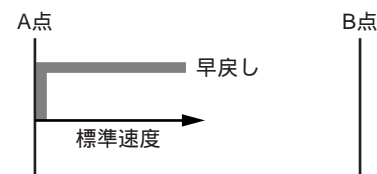


3. リピートを終えたい位置で、REPEAT A-Bボタンを押します。終点(B点)が設定され、A-Bリピート再生がスタートします。
4. 再生を開始すると、STOPボタンを押して停止するまで、リピート動作を繰り返します。
A-Bリピート再生中に早送り/早戻しまたはマルチスピード再生をした場合、A点に達するとA点から標準速度で再生します。また、B点に達するとA点から標準速度で再生します。

正方向へ早送りまたはマルチスピード再生した場合。



逆方向へ早戻しまたはマルチスピード再生した場合。



A-Bリピートを解除するには、STOPボタンを2回押して停止します。また、以下の操作をした場合も、A-Bリピートは解除されます。

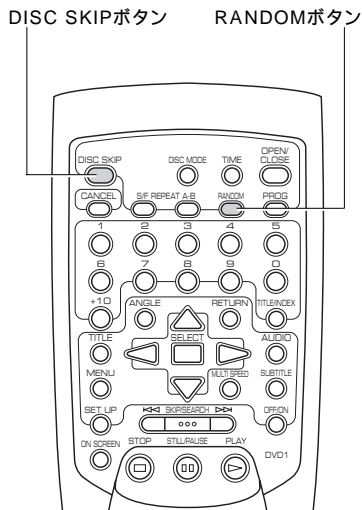
- A-Bリピート再生中にREPEAT A-Bボタンを押した場合。
- ディスクトレイを開けた場合。(プレイエクスチェンジを含まない)
- REPEAT S/Fボタンを押してシングルリピート/フルリピート/リピートなしを設定した場合。
- DISC SKIPボタンまたは本体のDISC 1 ~ DISC 5ボタンを押した場合。
- 電源を切った場合。
- A-Bリピートの範囲外をサーチした場合。

メモ

DVDによってはA-Bリピートができない場合があります。
ビデオCDでプレイバック制御をオンにして再生中は、動画区間でのみA-Bリピートできます。

順不同に再生する(ランダム再生)

ディスク上のタイトル/トラックを、ランダムに選択し全タイトル/トラック再生します。



1. ランダム再生を行うディスクを選びます。 ディスク スキップ
 1DISCに設定している場合は、リモコンのDISC SKIPボタンまたは本体のDISC1～DISC5ボタンで選びます。
 5DISCに設定している場合は、トレイの全ディスクがランダム再生の対象となります。

メモ

ランダム再生中にはディスク再生モード(1DISC/5DISC)の切換はできません。
 DVDには、ランダム再生できないディスクがあります。

2. ランダム RANDOMボタンを押します。ランダム再生モードに入り、ディスクの再生が開始されます。

注意

プログラム再生モードに設定されている場合は、RANDOMボタンを押してもランダム再生モードには入りません。

ランダム再生

3. 対象ディスクの全タイトル/トラックの再生が完了すると、ランダム再生モードは解除され、通常の再生モードになり停止します。

以下の操作をした場合にも、ランダム再生モードは解除され、通常の再生モードになります。

- ・ランダム再生中にRANDOMボタンを押した場合。
- ・“ 続き再生 ”が可能な状態でSTOPボタンを押した場合。
- ・ディスクトレイを開けた場合。(プレイエクスチェンジを含まない)
- ・電源を切った場合。(次に電源を入れたときは通常の再生モード)
- ・タイトルサーチまたはトラックサーチ操作を行った場合。
- ・タイムサーチ操作を行った場合。

ランダム再生モードでリピート再生を設定することもできます。
 ランダム再生モードでも“ 続き再生 ”は可能です。

メモ

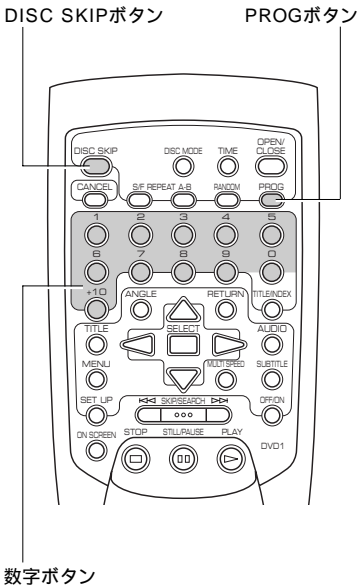
プレイバック制御が設定されているビデオCD(バージョン2.0)に対してランダムを設定すると、自動的にプレイバック制御がオフにされ、ランダム再生されます。

好きな順に再生する(プログラム再生)

タイトル/トラックを選んで、好きな順番に連続再生できます。

最大40ステップまでプログラムを組むことができます。

DVDでは、1タイトルがプログラムのステップの単位となります。ビデオCD、音楽CDでは1トラックがプログラムのステップの単位となります。



1. ディスクが停止した状態で**プログラム**のPROGボタンを押します。プログラム再生モードに入り、プログラム再生の設定画面が表示されます。
2. 設定画面上に、再生したい順番でディスク番号 - タイトル/トラック番号を設定していきます。

ディスク番号の選択：リモコンのDISC SKIPボタンまたは本体のDISC 1～DISC 5ボタンで行います。

タイトル/トラック番号の選択：数字ボタンで数値を入力します。“0”ボタンを押すと、そのディスクの全タイトル/トラック(AL)の再生が設定されます。

メモ

10以上のケタの入力には「+10」ボタンを使います。たとえば56という数値を入力する場合は、「+10」ボタンを連続5回押してから「6」ボタンを1回押します。

プログラムの中のステップに、存在しないディスク番号やタイトル/トラック番号を設定した場合、プログラム再生時にはそのステップ(プログラム)は、飛ばして再生します。

3. ディスク番号 - タイトル/トラック番号を入力すると、次のステップの入力待ち状態になります。
必要に応じてステップの入力を繰り返し、プログラムを設定します。

画面表示

1番目に再生されるタイトル/トラック(この例ではディスク番号1のタイトル1)

以下、40ステップまで再生する順番でプログラムできます。

1- : ディスク番号
1 : タイトル/トラック番号
AL : 全タイトル/全トラック

現在設定対象となっているステップ(この例ではステップ1)が表示されます。

プログラムされているタイトル/トラックの総時間が表示されます。

* ディスク情報をまだ読み込んでいないディスクや、総時間が計算できないディスクの場合は、“- - : - - : - - ”と表示されます。

プログラム設定		No. 1	総時間	1:2 3:4 5
1	1	4 AL		
1	2	2 8		
1	3	2 9		
1	4	2 10		
1	5	3 5		
1	6			
2	3			
2	4			
2	5			
2	6			

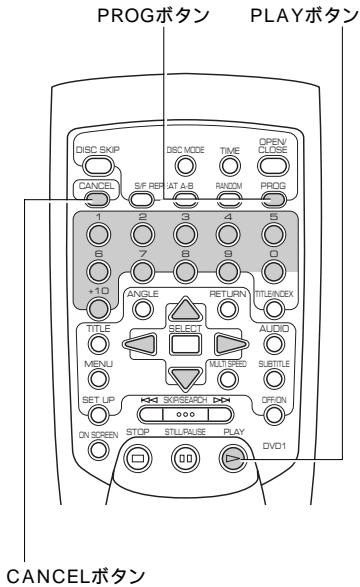
プログラムされていないステップを表します。

使用できるカーソルボタンを示します。

PROGボタンを押すと、プログラムの設定が確定(終了)すること示します。

PLAY(または▶/00)ボタンを押すと、プログラム再生が始まることを示します。

CANCELボタンによりプログラムの削除を行うことを示します。CANCELボタンを3秒以上押し続けると、プログラムの内容がすべてクリアされます。また、CANCELボタンを押し3秒以内ではなすと、現在ハイライトされているステップの内容がクリアされます。



4. プログラムの設定が終了したら、リモコンの^{プレイ}PLAYボタンまたは本体の▶/⏪ボタンを押します。
プログラム再生が開始されます。

5. プログラムの最後まで再生すると、停止します。

メモ

プレイバック制御が設定されているビデオCD(バージョン2.0)に対してプログラムを設定すると、自動的にプレイバック制御がオフにされ、プログラム再生されます。
プログラム再生モードでリピート再生を設定することもできます。
プログラム再生モードでも「続き再生」は可能です。
DVDには、プログラム再生できないディスクがあります。

プログラム再生モードを解除する場合は、

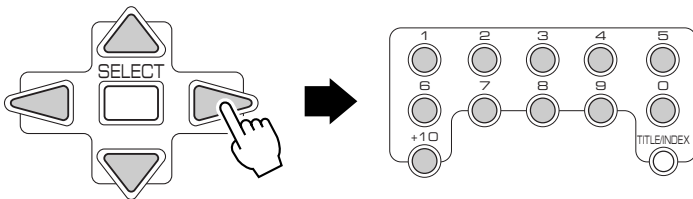
停止した状態で^{プログラム}PROGボタンを押します。この場合、プログラムの内容は保持されています。

以下の操作をした場合は、プログラムの内容もクリアされます。

- ・ ディスクトレイを開けた場合。

設定したプログラムを変更する場合は、

すでに設定されているステップにカーソルボタンで移動し、数字ボタンで設定を変更します。



プログラム設定		No. 5	総時間	1:23:45
1	1	4	A L	
1	2	2	8	
1	3	2	9	
1	4	2	10	
1	5	3	5	
1	6			
2	3			
2	4			
2	5			
2	6			

PROG終了 再生 CANCEL消除

カーソルボタンでステップを移動

プログラムの内容をすべてクリアする場合は、

^{キャンセル}CANCELボタンを3秒以上押し続けます。

プログラムの1ステップをクリアする場合は、

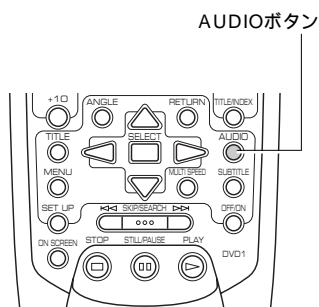
そのステップにカーソルボタンで移動し、^{キャンセル}CANCELボタンを押し3秒以内で放します。

オーディオモードの設定(ビデオCD、音楽CDのみ有効)

ビデオCD、音楽CDは、L/Rモード(ステレオ/L/R)を切り替えることができます。

オーディオ

AUDIOボタンを押すごとに、音声切り替わります。



[ステレオ]: ステレオ音声を出します。

[L]: L/R両端子にLチャンネル音声を出します。

[R]: L/R両端子にRチャンネル音声を出します。

メモ

このオーディオ(音声)モード設定はデジタル音声出力に対しても機能します。

ディスプレイ表示の設定

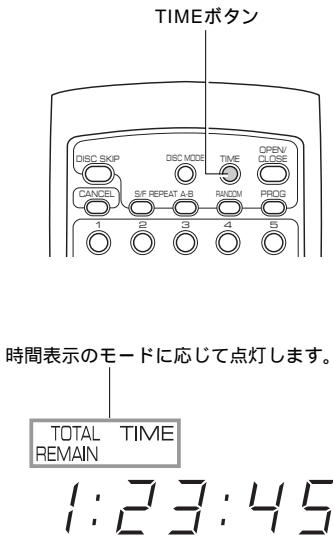
本体のディスプレイには、動作状態やディスクの情報が表示されます。

ディスプレイの表示に関しては、時間表示のモードと表示の明るさを設定することができます。

時間表示のモード

タイム

TIMEボタンを押すごとに、再生時の時間表示のモードが以下の順で切り替わります。



時間表示のモード	再生シーケンスモード		
	ノーマル再生	プログラム再生	ランダム再生
TIME (時間表示 1)	再生中の チャプター(DVD) / トラック(VCD, CD) の経過時間	再生中の タイトル(DVD) / トラック(VCD, CD) の経過時間	再生中の タイトル(DVD) / トラック(VCD, CD) の経過時間
REMAIN TIME (時間表示 2)	再生中の チャプター(DVD) / トラック(VCD, CD) の残り時間	再生中の タイトル(DVD) / トラック(VCD, CD) の残り時間	再生中の タイトル(DVD) / トラック(VCD, CD) の残り時間
TOTAL TIME (時間表示 3*)	タイトル(DVD) / ディスク(VCD, CD) の経過時間	全プログラムの 経過時間	
TOTAL TIME REMAIN (時間表示 4*)	タイトル(DVD) / ディスク(VCD, CD) の残り時間	全プログラムの 残り時間	

*ランダム再生では、時間表示3・4はありません。

ディスプレイ表示の明るさ設定

初期設定の [表示設定 : フロントパネル表示器] (43ページ)により、ディスプレイ表示の明るさを以下の3レベルから選ぶことができます。

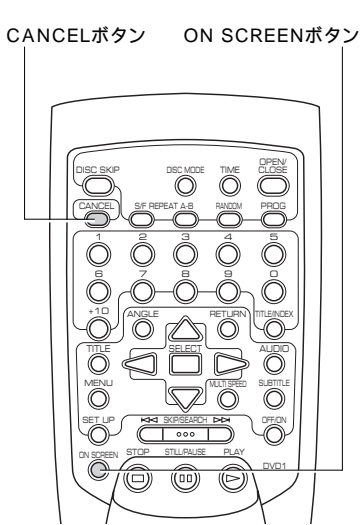
通常 通常の明るさで表示します。

暗い 通常の明るさよりやや暗くなります。

切 ディスクを再生しているときは消灯。それ以外では通常の明るさよりやや暗くなります。[切]に設定すると、本体パネルのAUTO DISPLAY OFFのインジケータが点灯します。

オンスクリーン表示の設定

動作状態やディスクの情報を再生中または停止中の映像に重ねて表示することができます。



オン スクリーン
ON SCREENボタンを押すごとに、オンスクリーン表示の内容が以下の順で切り替わります。

画面表示 1 (画面表示 1 + 画面表示 2) (画面表示 1 + 画面表示 3) オフ

注意

プログラム再生の設定画面表示中はオンスクリーン表示はできません。

キャンセル
オンスクリーン表示中にCANCELボタンを押しても、オンスクリーン表示が解除されません。

画面表示 1

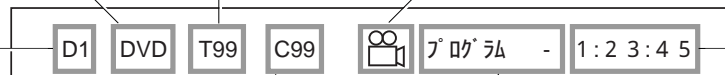
ディスクタイプ：
再生対象ディスクのタイプ(DVD, VCD, CD)が表示されます。

タイトル/トラック番号：
タイトル/トラック番号が表示されます。

マルチアングルアイコン(DVDのみ)：
マルチアングルで収録されているシーンが再生されている場合に表示されます。

ディスク番号：
再生対象のディスク番号(1~5)が表示されます。

チャプター/インデックス番号：
DVDの場合はチャプター番号(C**)が表示されます。ビデオCD、音楽CDの場合はインデックス番号(I**)が表示されます。



時間表示：
設定されている時間表示のモードで時間が表示されます。

時間表示のモード：
設定されている時間表示のモードが表示されます。本体ディスプレイの時間表示のモード設定と共通となります。表示はそれぞれ以下のモードを表します。

DVDの場合

表示	時間表示のモード
チャプター	チャプターの経過時間
チャプター -	チャプターの残り時間
タイトル	タイトルの経過時間
タイトル -	タイトルの残り時間
プログラム	プログラムの経過時間
プログラム -	プログラムの残り時間

ビデオCD/音楽CDの場合

表示	時間表示のモード
トラック	トラックの経過時間
トラック -	トラックの残り時間
ディスク	ディスクの経過時間
ディスク -	ディスクの残り時間
プログラム	プログラムの経過時間
プログラム -	プログラムの残り時間

ディスクを再生する

画面表示2

DVDの場合

タイトル総時間	1:23:45
アナログ音声出力	あり
デジタル音声出力	PCM 48kHz 16bit
音声言語	1 英語
音声フォーマット	ドルビィデジタル 5.1ch
字幕言語	2 英語 切
アングル	2

画面上部の表示は画面表示1と同じです。

- タイトル総時間 : 再生対象タイトルの総時間が表示されます。
- アナログ音声出力 : 本機のアナログ音声出力の有無が表示されます。
- デジタル音声出力 : 本機のデジタル音声出力の設定が表示されます。
- 音声言語 : 音声言語の設定が表示されます。
- 音声フォーマット : 再生するディスクの音声フォーマットが表示されます。
- 字幕言語 : 字幕言語の設定(言語および字幕表示の「入」「切」)が表示されます。
- アングル : アングルの設定が表示されます。

ビデオCD、音楽CDの場合

ディスク総時間	1:11:23
アナログ音声出力	あり
デジタル音声出力	PCM 44.1kHz 16bit
L/Rモード	ステレオ
VCDバージョン	2.0
プレイバック制御	入

画面上部の表示は画面表示1と同じです。

- ディスク総時間 : 再生対象ディスクの総時間が表示されます。
- アナログ音声出力 : 本機のアナログ音声出力の有無が表示されます。
- デジタル音声出力 : 本機のデジタル音声出力の設定が表示されます。
- L/Rモード : L/Rモード(ステレオ、L、R)が表示されます。
- VCDバージョン : ビデオCDのバージョンが表示されます。(ビデオCDの場合のみ表示)
- プレイバック制御 : プレイバック制御の設定(「入」「切」)が表示されます。(ビデオCDの場合のみ表示)

画面表示3

ディスク1	DVD
ディスク2	不明
ディスク3	VCD
ディスク4	ディスクなし
ディスク5	CD

画面上部の表示は画面表示1と同じです。

ディスク番号1~5にセットされているディスクの種類を表示します。

- 不明 : 該当ディスク番号に対応するディスクを1度も読み込みしたことがない場合
- ディスクなし : ディスクトレイにディスクがない場合

初期設定(セッティング)の変更

本機にはさまざまな初期設定(セッティング)があります。工場出荷時にすべて基本的な値に設定されていますが、使用状況に合わせて設定を変更してご利用ください。
初期設定の変更は、接続したテレビなどの画面で操作確認できる「オンスクリーン表示」を採用しています。

初期設定一覧

DVDの設定(DVD再生に関する設定を行います)	
1 TVタイプ	ご使用になるテレビのタイプ 通常][ワイド] を設定します。
2 表示モード	再生画面の形 レターボックス][パンスキャン] を設定します。
3 メニュー言語	「DVDメニュー」の表示言語を設定します。
4 字幕言語	画面に表示される字幕の言語を設定します。
5 音声言語	音声(台詞)の言語を設定します。
6 視聴制限レベル	視聴制限レベルを設定します。
VCD(ビデオCD)の設定(ビデオCD再生に関する設定を行います)	
1 プレイバック制御	PBC(プレイバックコントロール)機能のオン/オフを設定します。
表示の設定(表示に関する設定を行います)	
1 ガイド表示	ガイド表示のしかた [入]/[簡易表示]/[切] を設定します。
2 画面表示言語	オンスクリーン表示の言語を設定します。
3 背景画面	停止時に表示する背景画面を設定します。
4 スクリーンセーバー	スクリーンセーバー機能のオン/オフを設定します。
5 フロントパネル表示器	フロントパネル表示窓の明るさを設定します。
音声の設定(音声に関する設定を行います)	
1 デジタル出力	接続するアンプ(信号を受ける側)のデコーダー機能に応じて、本機のデジタル音声出力を設定します。
2 ダイナミックレンジ制御	ダイナミックレンジを設定します。
3 スピーカー	スピーカーの種類や有無に応じてアナログ音声の出力モードを設定します。

DVDの設定

DVD 設定	DVD	VCD	表示	音声
1 TVタイプ	通常	4:3		
2 表示モード	レターボックス			
3 メニュー言語	日本語			
4 字幕言語	自動			
5 音声言語	日本語			
6 視聴制限レベル	切			

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ▲▶▶

工場出荷時の状態

VCDの設定

VCD 設定	DVD	VCD	表示	音声
1 プレイバック制御		入		

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ▲▶▶

工場出荷時の状態

表示の設定

表示設定	DVD	VCD	表示	音声
1 ガイド表示			入	
2 画面表示言語			日本語	
3 背景画面			ピクチャ-1	
4 スクリーンセーバー			入	
5 フロントパネル表示器			通常	

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ▲▶▶

工場出荷時の状態

音声の設定

音声設定	DVD	VCD	表示	音声
1 デジタル出力				最大
2 ダイナミックレンジ制御				
3 スピーカー				

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ▲▶▶

工場出荷時の状態

変更のしかた

準備

本体のPOWERボタンを押して電源を入れます。
 STOPボタンを押して、ディスクの再生を停止します。

右ページ「セットアップチャート」も一緒にご覧になって操作してください。

1. リモコンのSET UPボタンを押すと、TV画面にセットアップメニュー(初期設定画面)が表示されます。

注意

プログラム設定画面表示中は(38ページ参照)、セットアップメニューを表示することができません。

2. リモコンの◀/▶(カーソル)ボタンでTV画面上段に表示されている「設定メニュー」を選びます。TV画面の左上には、現在選ばれている設定名が表示されます。

DVD設定 DVDソフト再生に関する設定を行います。
 VCD設定 ビデオCD(VCD)ソフト再生に関する設定を行います。
 表示設定 表示に関する設定を行います。
 音声設定 音声に関する設定を行います。

SELECTボタン、または▼(カーソル)ボタンを押します。設定のメニューに切り替わります。

3. リモコンの▲/▼(カーソル)ボタンで変更する項目を選び、SELECTボタンを押します。変更する項目の設定画面に切り替わります。

4. リモコンの▲/▼(カーソル)ボタンで設定を変更して、SELECTボタンを押します。

メモ

設定内容には、選択肢から該当するものを選ぶタイプと、コードや暗証番号を入力するタイプがあります(48,52ページ参照)。

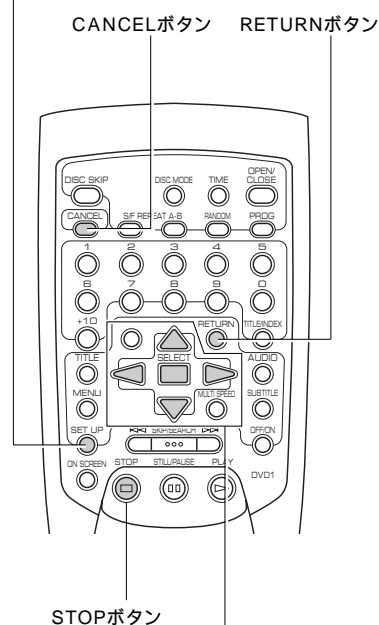
設定画面で*(アスタリスク)が付いた項目は、現在設定されているものを表します。

RETURNボタンを押すと前画面に切り替わります。

再生中や続き再生メモリー機能が有効な場合には、設定できない項目があります。

再生中には設定変更できず、内容の確認のみとなる項目があります。変更する場合は、再生を停止してから、設定変更を行ってください。

1, 5



2~4

例 : [DVD設定 : TVタイプ] の設定画面

DVD 設定	TVタイプ
* 1 通常	4:3
2 9:16	16:9

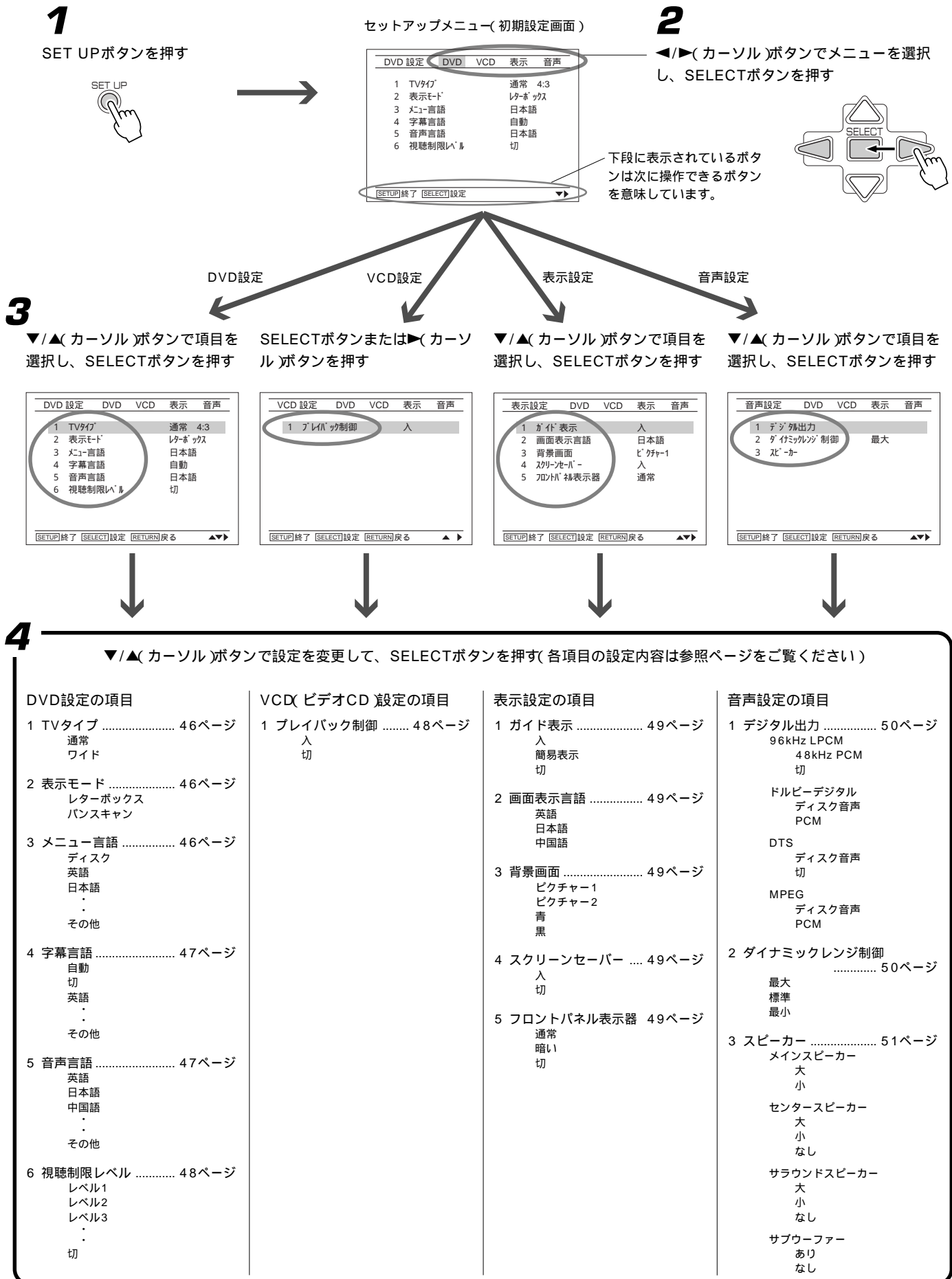
[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ◀ ▶

5. 設定が終了したら、SET UPボタンを押してセットアップメニューを終了します。

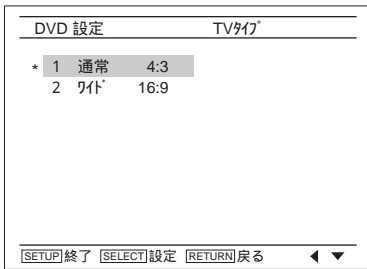
メモ

セットアップメニューのすべての設定をデフォルト(工場出荷時の状態)に戻すには、初期設定画面(手順1)で、リモコンのCANCELボタンを押しながらパネルのSTOPボタンを5秒以上押し続けます。

セットアップチャート



DVD設定



工場出荷時の状態

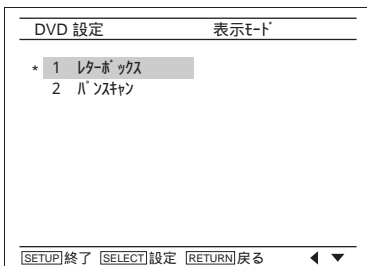
1 TVタイプ

接続してご使用になるテレビのタイプ(画面サイズの縦横比)を選びます。(▲▼ボタン SELECTボタン)

通常のテレビをご使用になる場合は[通常]に設定します。
ワイドテレビをご使用になる場合は[ワイド]に設定します。

メモ

ワイドテレビ側の画面モードは「フル」に設定してください。(ワイドソフトはフル画面で表示されます。)



工場出荷時の状態

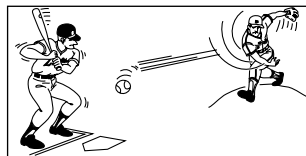
2 表示モード

通常のテレビ(4:3)でDVDのワイドソフトを再生するとき、再生画面の形を設定します。(▲▼ボタン SELECTボタン)

[レターボックス]に設定すると、上下に黒い帯のある画面でワイドソフトを再生します。

[パンスキャン]に設定すると、パンスキャン指定されているワイドソフトは左右が自動的にカットされて再生されます。パンスキャン表示が許可されていないワイドソフトでは、この設定に関係なくレターボックスで再生されます。

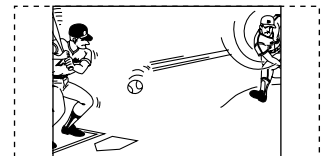
(パンスキャン表示の詳細は、DVDディスクの説明書をご覧ください。)



[ワイド画像]



[レターボックス]



[パンスキャン]

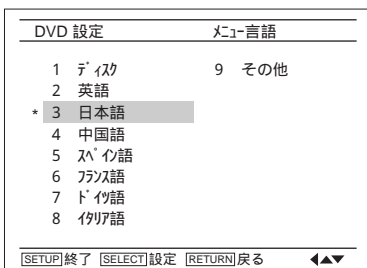
3 メニュー言語

DVDディスクに記録されている「DVDメニュー」の表示言語を選びます。(▲▼ボタン SELECTボタン)

[ディスク]に設定すると、ディスクにより指定された言語で表示します。

[2英語]~[8イタリア語]に設定すると、選んだ言語がディスクに記録されている場合は、選んだ言語で表示します。

[9 その他]を選んだ場合は、次の画面で数字ボタンを使って言語番号(52ページ参照)を入力してください。

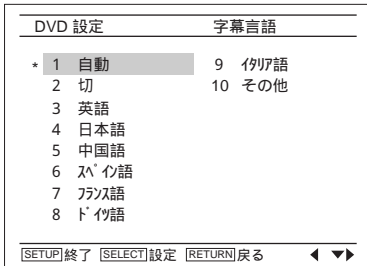


工場出荷時の状態

メモ

選んだ言語がディスクに記録されていない場合は、ディスクにより指定された言語で表示されます。

DVDには、デフォルトの言語を自動選択するディスクがあります。



工場出荷時の状態

4 字幕言語

DVDディスク(映画ソフトなど)に複数の字幕言語が記録されている場合は、画面に表示される字幕の言語を選びます。(▲▼◀▶ボタン SELECTボタン)

「自動」に設定すると[5 音声言語]により設定された言語を自動設定します。この場合の字幕は、音声[5 音声言語]で設定された言語で再生されないときに表示されます。音声が設定された言語で再生されたときは、字幕は表示されません。

[切]に設定すると字幕は表示されません。

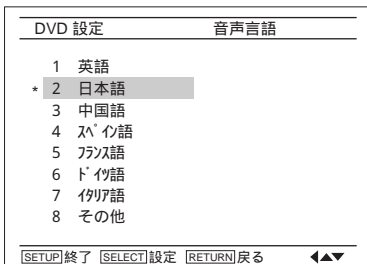
[3英語]～[9イタリア語]に設定すると、選んだ言語がディスクに記録されている場合は、選んだ言語で表示します。

[10 その他]を選んだ場合は、次の画面で数字ボタンを使って言語番号(52ページ参照)を入力してください。

メモ

選んだ言語がディスクに記録されていない場合は、ディスクにより指定された言語が選択されます。

DVD によっては、複数の言語を持っていても言語コードが記録されていないため、ここで設定した言語の字幕が選択されないことがあります。



工場出荷時の状態

5 音声言語

DVDディスク(映画ソフトなど)に複数の音声言語が記録されている場合は、音声(台詞)の言語を選びます。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

[1英語]～[7イタリア語]に設定すると、選んだ音声言語がディスクに記録されている場合は、選んだ言語で再生します。

[8 その他]を選んだ場合は、次の画面で数字ボタンを使って言語番号(52ページ参照)を入力してください。

メモ

選んだ言語がディスクに記録されていない場合は、ディスクにより指定された言語で再生されます。

DVD によっては、複数の音声言語を持っていても音声の言語コードが記録されていないため、ここで設定した言語の音声を選択されないことがあります。

6 視聴制限レベル

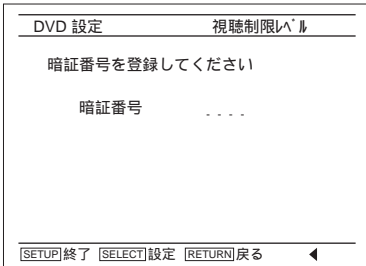
視聴制限レベルの設定に必要な暗証番号(4桁)を入力します。ここで設定する暗証番号は、視聴制限レベルを変更する際に必要になりますので、必ずメモをとるなど控えておいてください。

数字ボタンを使って暗証番号(4桁)を入力すると、レベル設定画面に切り替わります。

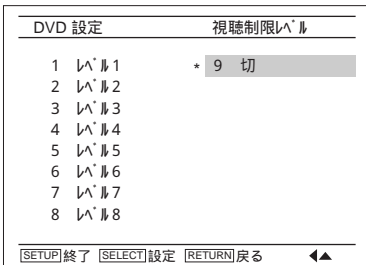
視聴制限レベルを設定します。(▲▼◀▶ボタン SELECTボタン)

本機は、ここで設定された視聴制限レベルとDVDディスク(映画ソフトなど)に記録された視聴制限レベルをチェックして、再生を制限します。

[レベル1]が最も厳しく(子供向け) [レベル8]が最も緩く、[切]は視聴制限機能を無効にします。



暗証番号画面



レベル設定画面
工場出荷時の状態

メモ

暗証番号と視聴制限レベルは、電源を切っても記憶されています。

暗証番号を忘れた場合や変更したい場合は、暗証番号入力画面にてリモコンのCANCELボタンを押しながら本体のSTOPボタンを3回押しすと、暗証番号が初期化されます(未登録状態に戻ります)。

視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、視聴制限の設定は機能しません。

VCD(ビデオCD)設定

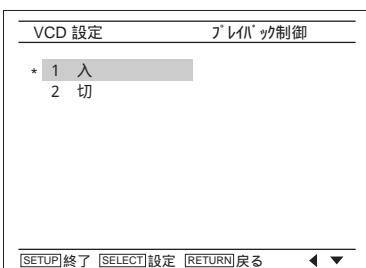
1 プレイバック制御(ビデオCDバージョン2.0のディスクのみ有効)

PBC(プレイバックコントロール)機能のオン/オフを設定します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

プレイバック制御を[入]に設定すると、PBC対応ビデオCD(対話型のソフトや検索機能を持ったソフト)を楽しむことができます。

(▲▼ボタン SELECTボタン)



工場出荷時の状態

表示設定

表示設定	ガイド表示
* 1	入
2	簡易表示
3	切

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ◀▼

工場出荷時の状態

1 ガイド表示

ガイド表示を[入]に設定すると、操作/メッセージをすべて画面に表示してガイドします。[簡易表示]に設定すると、禁止/警告のマークのみ表示します。[切]に設定すると、何も表示されません。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

表示設定	画面表示言語	
1	English	英語 英文
* 2	Japanese	日本語 日文
3	Chinese	中国語 中文

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ◀▼

工場出荷時の状態

2 画面表示言語

オンスクリーン表示の言語を選びます。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

表示設定	背景表示
* 1	ビクチャ-1
2	ビクチャ-2
3	青
4	黒

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ◀▼

工場出荷時の状態

3 背景画面

停止時に表示する背景画面を選びます。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

表示設定	スクリーンセーバー
* 1	入
2	切

[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ◀▼

工場出荷時の状態

4 スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能のオン/オフを設定します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

スクリーンセーバーを[入]に設定すると、停止状態で5分間放置した場合にスクリーンセーバー(焼付によるモニター画面の劣化を防ぎます)が自動的に働きます。[切]に設定すると働きません。スクリーンセーバーが働いた場合、本体パネルのボタン/リモコンボタンのいずれかを押すと解除されます。(最初のボタン入力はスクリーンセーバー解除としてのみ機能します。)

5 フロントパネル表示器

本体のフロントパネル表示窓の明るさを設定します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

[通常]に設定すると、通常の輝度で表示します。

[暗い]に設定すると、減光して表示します。

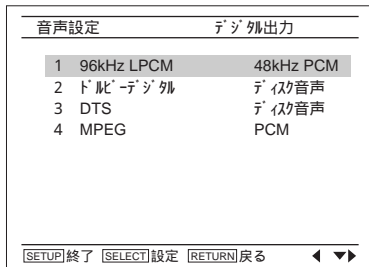
[切]に設定すると、再生中は消灯し、その他の場合は減光して表示します。([切] を選択すると本体のAUTO DISPLAY OFFインジケーターが点灯します。)

表示設定	フロントパネル表示器
* 1	通常
2	暗い
3	切

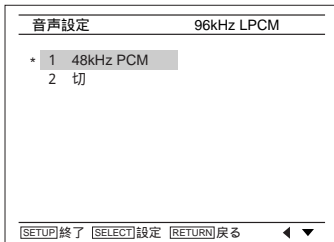
[SETUP]終了 [SELECT]設定 [RETURN]戻る ◀▼

工場出荷時の状態

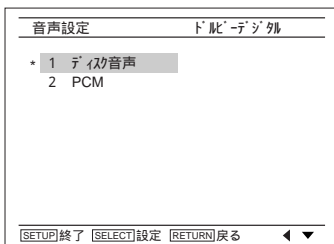
音声設定



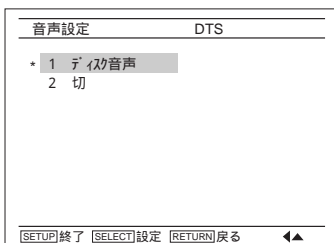
工場出荷時の状態



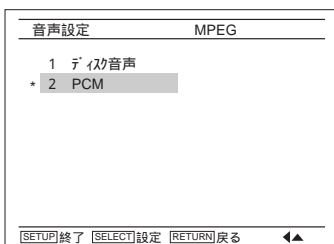
工場出荷時の状態



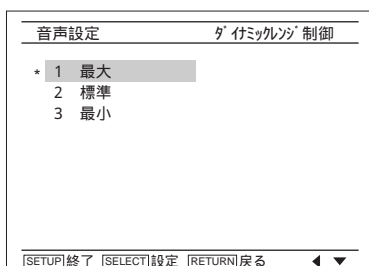
工場出荷時の状態



工場出荷時の状態



工場出荷時の状態



工場出荷時の状態

1 デジタル出力(DVDディスクのみ有効)

接続するアンプ(信号を受ける側)のデコーダー機能に応じて、本機のデジタル音声出力を設定します。

設定するデジタル音声を選択します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

96kHz LPCM(▲▼ボタン SELECTボタン)

[48kHz PCM]に設定すると、96kHzのリニアPCM音声を48kHzにダウンサンプリングして出力されます。

[切]に設定すると、96kHzのリニアPCM音声は、ミュートされ出力しません。

メモ

48kHzのPCM音声は、この設定に関らず、常にオリジナル(48kHz)のPCMデータが出力されます。

ドルビーデジタル(▲▼ボタン SELECTボタン)

[ディスク音声]に設定すると、ドルビーデジタルのビットストリーム(オリジナル)が出力されます。

(アナログ音声を出力しません。)

[PCM]に設定すると、ドルビーデジタルフォーマットのサウンドは、48kHz、2chのPCMデータに変換して出力されます。

(アナログ音声を出力します。)

DTS(▲▼ボタン SELECTボタン)

[ディスク音声]に設定すると、DTSのビットストリーム(オリジナル)を出力します。

[切]に設定すると、DTS音声を出力しません。

MPEG(▲▼ボタン SELECTボタン)

[ディスク音声]に設定すると、MPEGのビットストリームで出力されます。

(アナログ音声を出力しません。)

[PCM]に設定すると、MPEGフォーマットのサウンドは、48kHz、2chのPCMデータで出力されます。

(アナログ音声を出力します。)

2 ダイナミックレンジ制御(ドルビーデジタル再生時)

([音声設定: デジタル出力] [ドルビーデジタル] [PCM]に設定した場合のみ有効)

ダイナミックレンジを設定します。(▲▼ボタン SELECTボタン)

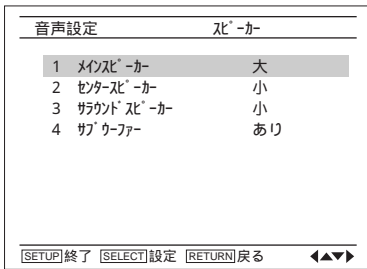
[最大]に設定すると、フルダイナミックレンジで再生します。

[標準]に設定すると[最大]と[最小]の間で再生します。

[最小]に設定するとソフト制作者が家庭用として推奨するダイナミックレンジで再生します。

3 スピーカー(ドルビーデジタル再生時)

([音声設定: デジタル出力]の[ドルビーデジタル]を[PCM]に設定した場合のみ有効)
 設定するスピーカーを選択します。
 (▲▼ボタン SELECTボタン)



工場出荷時の状態

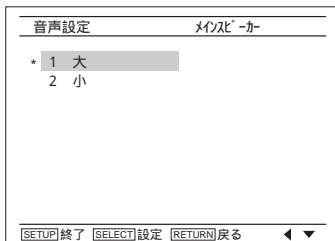
メインスピーカー

大きなメインスピーカーを接続している場合は[大]に、小さなメインスピーカーを接続している場合は[小]に設定します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

「大」..... 通常出力

「小」..... 100Hz以下の低域をサブウーファーに振り分ける(注)



工場出荷時の状態

センタースピーカー

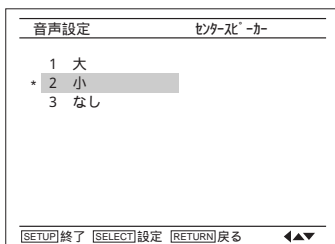
大きなセンタースピーカーを接続している場合は[大]に、小さなセンタースピーカーを接続している場合は[小]に設定します。センタースピーカーを接続していない場合は[なし]に設定します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

「大」..... 通常出力

「小」..... 100Hz以下の低域をサブウーファーに振り分ける(注)

「なし」..... メインL/Rに全域を振り分ける



工場出荷時の状態

サラウンドスピーカー

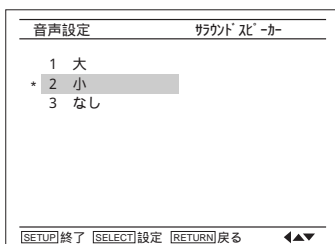
大きなサラウンドスピーカーを接続している場合は[大]に、小さなサラウンドスピーカーを接続している場合は[小]に設定します。サラウンドスピーカーを接続していない場合は[なし]に設定します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

「大」..... 通常出力

「小」..... 100Hz以下の低域をサブウーファーに振り分ける(注)

「なし」..... メインL/Rに全域を振り分ける



工場出荷時の状態

サブウーファー

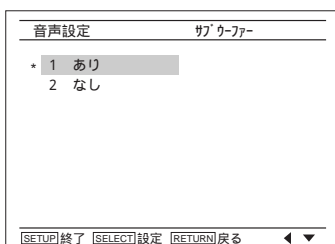
サブウーファーを接続している場合は[あり]に、サブウーファーを接続していない場合は[なし]に設定します。

(▲▼ボタン SELECTボタン)

「あり」..... サブウーファーを有効にする

「なし」..... サブウーファーを無効にする(注)

(注)..... サブウーファーの設定を「なし」にした場合、メインスピーカーの設定は無視され、センタースピーカーとサラウンドスピーカーの低域成分はメインスピーカーに振り分けられます。



工場出荷時の状態

メモ

サイズの目安 [大] ... 100Hz 以下の低周波数の再生能力があるスピーカー
 [小] ... 100Hz 以下の低周波数の再生能力がないスピーカー
 詳しくは、ご使用になるスピーカーの仕様をご確認ください。

DVD言語コード一覧表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル語	7378	インドネシア語	8287	キニヤルワンダ語
6566	アブハジア語	7383	アイスランド語	8365	サンスクリット語
6570	アフリカーンス語	7384	イタリア語	8368	シンド語
6577	アムハラ語	7387	ヘブライ語	8371	サンゴ語
6582	アラビア語	7465	日本語	8372	セルボクロアチア語
6583	アッサム語	7473	インディッシュ語	8373	シンハラ語
6589	アイマラ語	7487	ジャワ語	8375	スロバキア語
6590	アゼルバイジャン語	7565	グルジア語	8376	スロベニア語
6665	バシキール語	7575	カザフ語	8377	サモア語
6669	ベラルーシ語(白ロシア語)	7576	グリーンランド語	8378	ショナ語
6671	ブルガリア語	7577	カンボジア語	8379	ソマリ語
6672	ビハール語	7578	カナダ語	8381	アルバニア語
6673	ビスマラ語	7579	韓国(朝鮮)語	8382	セルビア語
6678	ベンガル語、バングラ語	7583	カシミール語	8383	シスワティ語
6679	チベット語	7585	クルド語	8384	セストゥ語
6682	ブルトン語	7589	キルギス語	8385	スンダ語
6765	カタロニア語	7665	ラテン語	8386	スウェーデン語
6779	コルシカ語	7678	リンガラ語	8387	スワヒリ語
6783	チェコ語	7679	ラオス語	8465	タミール語
6789	ウェールズ語	7684	リトアニア語	8469	テルグ語
6865	デンマーク語	7686	ラトビア語、レット語	8471	タジク語
6869	ドイツ語	7771	マダガスカル語	8472	タイ語
6890	ブータン語	7773	マオリ語	8473	ティグリニヤ語
6976	ギリシャ語	7775	マケドニア語	8475	トルクメン語
6978	英語	7776	マラヤーラム語	8476	タガログ語
6979	エスペラント語	7778	モンゴル語	8478	セツワナ語
6983	スペイン語	7779	モルダビア語	8479	トンガ語
6984	エストニア語	7782	マラッタ語	8482	トルコ語
6985	バスク語	7783	マレー語	8483	ツォンガ語
7065	ペルシャ語	7784	マルタ語	8484	タタール語
7073	フィンランド語	7789	ビルマ語	8487	トウィ語
7074	フィジー語	7865	ナウル語	8575	ウクライナ語
7079	フェロー語	7869	ネパール語	8582	ウルドゥー語
7082	フランス語	7876	オランダ語	8590	ウズベク語
7089	フリジア語	7879	ノルウェー語	8673	ベトナム語
7165	アイルランド語	7967	プロバンス語	8679	ヴォラピューク語
7168	スコットランドゲール語	7977	(アフォン)オロモ語	8779	ウォロフ語
7176	ガリシア語	7982	オリアー語	8872	コーサ語
7178	グアラニ語	8065	パンジャブ語	8979	ヨルバ語
7185	グジャラート語	8076	ポーランド語	9072	中国語
7265	ハウサ語	8083	バシュトウ語	9085	ズールー語
7273	ヒンディー語	8084	ポルトガル語		
7282	クロアチア語	8185	ケチュア語		
7285	ハンガリー語	8277	レートロマンズ語		
7289	アルメニア語	8278	キルンディ語		
7365	国際語	8279	ルーマニア語		
7375	イヌピアク語	8285	ロシア語		

参考仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz	
消費電力	19 W	
信号形式	NTSC日米標準信号方式	
質量	7.2 kg	
外形寸法	幅473×高さ116×奥行404 mm(突起物含まず)	
許容周囲温度	+5～+35	
許容相対湿度	5～90%(結露なきこと)	
対応ディスク	(1)DVD-VIDEOディスク 12cm片面1層 12cm片面2層 12cm両面2層(各面1層) 8cm片面1層 8cm片面2層 8cm両面2層(各面1層)	(2)コンパクトディスク (CD-DA、ビデオCD) 12cmディスク 8cmディスク
S映像出力	Y出力: 1 Vp-p(75 負荷時、同期負) C出力: 0.286 Vp-p 1系統	
映像信号出力	1 Vp-p(75 負荷時、同期負) 2系統	
コンポーネント映像出力	Y出力: 1 Vp-p(75 負荷時、同期負) C _B 出力: 0.7 Vp-p C _R 出力: 0.7 Vp-p 1系統	
アナログ音声出力	200 mVrms(1 kHz、-20 dB) 6CH DISCRETE: 1系統 MIXED 2CH: 1系統	
デジタル音声出力	光デジタル出力: 1系統 同軸デジタル出力: 1系統	
音声信号出力特性	DVDリニア音声 (1)周波数特性 48 kHzサンプリング 2 Hz～22 kHz (EIAJ) 96 kHzサンプリング 2 Hz～44 kHz (EIAJ) (2)S/N比 115 dB (EIAJ) (3)ダイナミックレンジ 104 dB (EIAJ) (4)ワウフラッター 測定限界以下 (5)全高調波歪率 0.002%	CDオーディオ (1)周波数特性 2 Hz～20 kHz (EIAJ) (2)S/N比 115 dB (EIAJ) (3)ダイナミックレンジ 100 dB (EIAJ) (4)ワウフラッター 測定限界以下 (5)全高調波歪率 0.002%

本機は、日本国内専用です。外国では、放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。

本機には、米国特許権とその他知的財産権で保護された著作権保護技術が搭載されています。この著作権保護の技術の使用についてはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、一般家庭およびその他の限られた視聴にのみ許可を受けています。また改造や分解は禁止されています。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

故障かな？と思ったら

本機を使用中に正常に動作しなくなったときは、まず下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しないとき、または下記以外で何らかの異常が認められましたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

本機使用中に、強い外来ノイズ(落雷・過大な静電気など)を受けたり、誤った操作をした場合などは、本機が正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源を切った後に電源コードをコンセントから抜き、約30秒後に再び接続して操作してください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源が入らない。	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	
PLAYボタンを押しても再生が始まらない。またはすぐに停止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結露が発生している。(電源コードを差したまま1~2時間放置してください。) ・ DVD、ビデオCD、音楽CD以外のディスクは再生できません。 ・ DVDディスクの場合、リージョン番号を確認してください。 ・ ディスクが汚れています。きれいに拭いてください。 ・ ディスクのラベル印刷面を上にして、正しく入れてください。 ・ ディスクがずれてセットされている。正しく入れてください。 	8ページ 10ページ 10ページ 8ページ 25ページ 25ページ
映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続を確認してください。 ・ VIDEO OUT SELECTスイッチの設定を確認してください。 ・ テレビの入力切替を「ビデオ」にしてください。 	22ページ 22ページ
音が聞こえない。または聞きづらい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続を確認してください。 ・ ステレオなどの入力切替を正しく設定してください。 ・ 一時停止、マルチスピード再生中などは聞こえません。 ・ [デジタル出力]の設定を確認してください。 	18~21ページ 31ページ 50ページ
ビデオCDのメニュー再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ [プレイバック制御]の設定を[入]にしてください。 ・ プレイバックコントロール(PBC)付ビデオCD以外は、メニュー再生できません。 	48ページ 27ページ
早送り(早戻し)できない。	DVDディスクによっては、早送り(早戻し)を禁止している部分があります。	
アングルを変えて見るのができない。	複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えることができません。また、特定の場面だけに複数のアングルが記録されているディスクもあります。	
タイトルを選んでも再生が始まらない。	[視聴制限]の設定を確認してください。	48ページ
字幕が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンのOFF/ONボタンを押して、[入]にしてください。 ・ 字幕が記録されていないDVDは、字幕が表示されません。 ・ 字幕言語が[切]に設定されています。字幕言語を選んでください。 	28ページ 28ページ 47ページ
セットアップメニューで選んだ音声言語/字幕言語にならない。	選んだ言語がDVDに記録されていません。故障ではありません。	
画像の比率が「4:3(16:9)」で映らない。	使用するテレビに合わせて、[TVタイプ:通常/ワイド]を設定してください。	46ページ
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ [メニュー言語]の設定を確認してください。 ・ 選んだ言語がDVDに記録されていません。故障ではありません。 	46ページ

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声(または字幕)言語が切り替えできない。	複数の言語が入っていないDVDは切り替えできません。	
サラウンドで聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ・ [デジタル出力]の設定を確認してください。 ・ [スピーカー]の設定項目を正しく設定してください。 	50ページ 51ページ
再生または録画をすると画像が乱れる	本機はマクロピジョン方式のコピーガードシステムに対応していません。テレビをビデオデッキを経由して接続しているときは、コピーガード信号の入ったDVDディスクは正常な再生、録画ができません。ありますが、故障ではありません。	
本体(またはリモコン)でボタン操作できない	POWERボタンを一度、オン/オフしてください。 または電源を切って電源プラグを抜き、もう一度差し込んでください。(落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります)	
リモコン操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乾電池は、プラス、マイナスを確かめて正しく入れてください。 ・ 乾電池が消耗しているので、新しいものに交換してください。 ・ リモコン受光窓に向けて操作してください。 ・ リモコン受光窓との距離が7m以内のところで操作してください。 ・ リモコン受光窓との間にある障害物を取り除いてください。 	9ページ 9ページ 9ページ 9ページ 9ページ

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460-3451

品質保証室 TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100

浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-1-6
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877-5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874-3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (0878) 22-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
お客様ご相談センター
TEL (03) 5488-5500

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を!

こんな症状はありませんか?

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズか変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。